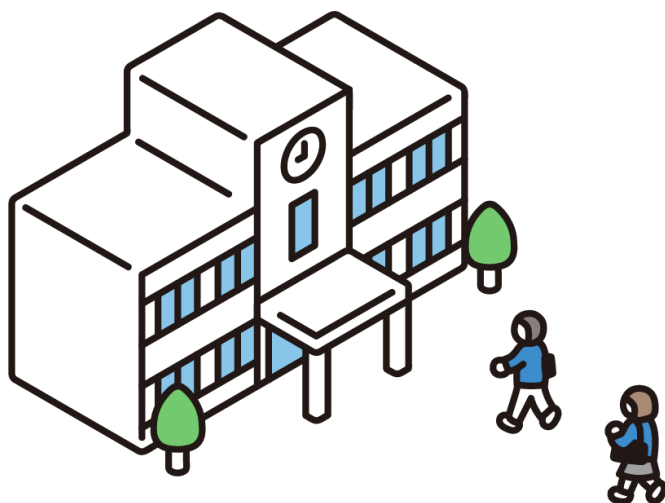


学校教育



1. 市立小・中学校の概要

2025 年 5 月 1 日現在、町田市には 40 校の市立小学校と 20 校の市立中学校（うち小中一貫校 1 校）があります。

学校一覧、学級編制、児童・生徒数及び学級数、通学区域並びに通学区域緩和制度については、次のとおりです。

（１）学校一覧

① 小学校

（2025 年 5 月 1 日現在）

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校長名
1	町田第一小学校		中町 1-20-30	042-722-3105	明 6. 5. 1	6 月 11 日	佐野 友隆
2	町田第二小学校		原町田 4-26-40	042-722-3316	昭 27. 4. 1	6 月 25 日	卜部 敦彦
3	町田第三小学校		本町田 1212	042-722-3329	昭 27. 4. 1	6 月 10 日	隅田 克思
4	町田第四小学校		森野 2-21-28	042-722-3727	昭 30. 4. 1	6 月 15 日	坂西 圭子
5	町田第五小学校		玉川学園 4-14-7	042-725-8178	昭 38. 4. 1	6 月 1 日	米山 哲也
6	町田第六小学校		南大谷 7-3-1	042-722-3659	昭 40. 4. 1	6 月 1 日	薄井 智美
7	南大谷小学校		南大谷 6-16-1	042-725-2551	昭 49. 4. 1	6 月 10 日	鶴岡 武臣
8	藤の台小学校		藤の台 3-1-1	042-726-1005	昭 48. 4. 1	6 月 1 日	小澤 新也
9	本町田ひなた小学校		本町田 2032	042-721-5561	令 7. 4. 1	5 月 24 日	清水 淳

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電話	開 校 年月日	開 校 記念日	校長名
10	南第一小学校		南町田 1-10-1	042-795-2274	明 6. 6. 10	6 月 10 日	安東 深雪
11	南第三小学校		金森東 1-2-1	042-722-2663	昭 33. 4. 1	6 月 2 日	工藤 成
12	南第四小学校		金森東 3-21-1	042-796-1326	昭 43. 4. 1	5 月 21 日	貝原 俊明
13	つくし野小学校		つくし野 2-21-11	042-795-3295	昭 47. 4. 1	5 月 27 日	山中 朗
14	小川小学校		小川 3-10-1	042-795-0002	昭 50. 4. 1	6 月 9 日	星 彰
15	成瀬台小学校		成瀬台 2-5-2	042-723-3001	昭 50. 4. 1	6 月 10 日	奥 明廣
16	鶴間小学校		鶴間 4-17-1	042-796-1951	昭 52. 4. 1	6 月 9 日	杉本 勉
17	高ヶ坂小学校		高ヶ坂 6-7-1	042-725-4295	昭 53. 4. 1	6 月 1 日	岩崎 直美
18	成瀬中央小学校		成瀬 2-8	042-728-6020	昭 54. 4. 1	6 月 10 日	渡辺 利江子
19	南つくし野小学校		南つくし野 2-4-8	042-796-1950	昭 55. 4. 1	6 月 10 日	山崎 聡
20	成瀬小学校		南成瀬 3-6	042-726-1080	令 7. 4. 1	5 月 16 日	吉成 美紀
21	鶴川第一小学校		野津田町 1290	042-735-1234	明 41. 4. 1	10 月 6 日	小林 繁

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電話	開 校 年月日	開 校 記念日	校長名
22	鶴川第二小学校		能ヶ谷 7-24-1	042-735-5498	昭 39. 5. 1	5 月 1 日	安部 貴史
23	鶴川第三小学校		鶴川 6-5	042-735-2127	昭 43. 1. 8	10 月 2 日	鯨坂 映子
24	鶴川第四小学校		鶴川 3-22	042-735-2868	昭 46. 4. 1	6 月 20 日	高橋 伸嘉
25	金井小学校		金井ヶ丘 1-30-1	042-735-0010	昭 53. 4. 1	6 月 1 日	須藤 潤一郎
26	大蔵小学校		大蔵町 286	042-734-2321	昭 55. 4. 1	6 月 16 日	岩月 尊之
27	三輪小学校		三輪町 330-1	044-988-5214	昭 57. 4. 1	6 月 7 日	荻間 順子
28	忠生小学校		忠生 3-10-2	042-791-1021	大元. 9. 1	6 月 13 日	西 和昌
29	小山田小学校		上小山田町 614	042-797-1824	昭 27. 5. 20	5 月 20 日	悴田 隆良
30	忠生第三小学校		木曽東 3-11-3	042-791-0721	昭 37. 4. 1	6 月 12 日	山本 正則
31	山崎小学校		忠生 2-15-26	042-793-2004	昭 55. 4. 1	6 月 10 日	畠中 勝美
32	小山田南小学校		小山田桜台 2-7	042-797-4541	昭 59. 4. 1	5 月 30 日	望月 伸司
33	木曽境川小学校		木曽西 1-9-1	042-791-2086	平 13. 4. 1	11 月 1 日	高綱 美穂

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電話	開 校 年月日	開 校 記念日	校長名
34	七国山小学校		山崎町 1314-2	042-791-2171	平 15. 4. 1	6 月 23 日	山本 美紀
35	図師小学校		図師町 239-19	042-789-6361	平 21. 4. 1	1 月 30 日	若月 雅裕
36	小山小学校		小山町 944	042-797-2733	明 6. 5. 1	5 月 1 日	三瓶 昌信
37	小山ヶ丘小学校		小山ヶ丘 5-37	042-770-6251	平 17. 4 . 1	11 月 12 日	大川 優
38	小山中央小学校		小山ヶ丘 3-7-1	042-798-0670	平 22. 4 . 1	1 月 29 日	浦木 義尚
39	相原小学校		相原町 1673	042-771-2341	明 7. 7. 20	6 月 20 日	百田 明弘
40	大戸小学校 (小中一貫ゆくのき学園)		相原町 3765-3	042-782-9091	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	鈴木 元

② 中学校

(2025 年 5 月 1 日現在)

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電話	開 校 年月日	開 校 記念日	校長名
1	町田第一中学校		中町 1-27-5	042-722-2420	昭 22. 4. 1	5 月 26 日	風間 茂
2	町田第二中学校		南大谷 1-9-1	042-722-1101	昭 32. 4. 1	5 月 6 日	高橋 健志
3	町田第三中学校		本町田 1853	042-722-6095	昭 43. 4. 1	5 月 27 日	鈴木 英顕

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校長名
4	南大谷中学校		南大谷 6-17-1	042-723-5567	昭 50. 4. 1	5 月 27 日	曾我 泰孝
5	南中学校		金森 3-27-1	042-796-2248	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	長谷川 智也
6	つくし野中学校		南つくし野 2-14-2	042-795-0323	昭 50. 9. 1	9 月 30 日	河田 真一
7	成瀬台中学校		成瀬台 2-5-1	042-728-6030	昭 54. 4. 1	5 月 26 日	福田 秀樹
8	南成瀬中学校		南成瀬 7-7-1	042-729-3441	昭 57. 4. 1	6 月 1 日	杉浦 元一
9	鶴川中学校		小野路町 1905-1	042-735-2405	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	大石 眞二
10	鶴川第二中学校		鶴川 6-4	042-734-4343	昭 48. 4. 1	6 月 1 日	小島 千恵
11	薬師中学校		金井 1-20-1	042-725-5002	昭 46. 4. 1	6 月 1 日	矢島 志津香
12	真光寺中学校		真光寺 3-8-1	042-734-4605	昭 55. 4. 1	5 月 1 日	藤井 朱世
13	金井中学校		金井 6-15-1	042-734-0259	昭 59. 4. 1	6 月 1 日	松岡 健
14	忠生中学校		忠生 3-14-1	042-791-0821	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	高橋 博幸
15	山崎中学校		山崎町 1445	042-793-1021	昭 54. 4. 1	6 月 2 日	小平 千佐子

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校長名
16	木曽中学校		木曽西 2-4-9	042-792-3081	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	大山 茂登
17	小山田中学校		小山田桜台 1-12	042-797-4545	昭 59. 4. 1	6 月 25 日	吉田 知宏
18	小山中学校		小山ヶ丘 1-2-4	042-798-1251	平 24. 4. 1	1 月 11 日	土屋 敏彦
19	堺中学校		相原町 752	042-771-2348	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	工藤 憲治
20	武蔵岡中学校 (小中一貫ゆくのき学園)		相原町 3865	042-782-9155	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	鈴木 元

(2) 学級編制

小・中学校の学級編制については、毎年度、4月1日を基準日として、教育委員会が定める「学級編制基準」に基づいて行います。

町田市では、1985年度まで小・中学校全校において全学年を「45人学級」で編制していましたが、小学校においては1986年度から、中学校においては1989年度から、それぞれ第1学年を「40人学級」とし、1991年度からは、小・中学校の全学年を「40人学級」で編制することとしました。

その後、この「40人学級」での編制が続きましたが、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」(以下、「義務標準法」という。)の改正に伴い、東京都教育委員会の「学級編制基準」が改正され、2011年度から、小学校第1学年においては「35人学級」で編制することとし、さらに、2012年度からは小学校第2学年、2013年度から中学校第1学年においても「35人学級」で編制することとしました。

また、2021年の義務標準法の一部改正に伴い、東京都教育委員会の「学級編制基準」が改正され、小学校について、学年進行により段階的に「35人学級」編制への移行を進めることとなりました。これにより、2022年度に小学校第3学年を「35人学級」編制とし、以降、段階的に「35人学級」編制への移行を進め、2025年度には小学校の全学年において「35人学級」編制を実施しています。

（３）児童・生徒数及び学級数

市制が施行された 1958 年は、人口 60,957 人、小学校 12 校で児童数 8,766 人、中学校 6 校で生徒数 3,460 人でした。その後、高度経済成長期を迎え、都心から郊外へと人口移動がみられる中で、町田市は都心から比較的近距离であり、交通の利便性のあるベッドタウンとして注目され発展しました。とりわけ 1960 年代後半から 1980 年代前半にかけては、大規模集合住宅が相次いで建設され、急激な人口増加を生み、児童・生徒数は年々増え続け、児童数は 1980 年に 36,928 人（41 校）、生徒数は 1985 年に 17,689 人（20 校）と、それぞれピークに達しました（児童・生徒総数のピークは 1982 年の 51,769 人）。

その後、出生率の低下等により、児童・生徒数は減少傾向となりましたが、マンション建設や宅地開発等により、児童数は 2001 年度、生徒数は 2006 年度から再び増加傾向となりました。さらに、区画整理事業による市内周縁部の開発等により、地域によっては急激に児童・生徒数が増加してきました。

しかし、児童数は 2011 年度以降再び減少傾向に転じ、生徒数も、2017 年度から減少傾向にあります。

2025 年度の学級数及び児童・生徒数は、5 月 1 日現在、小学校においては、通常の学級の学級 661 学級、児童数 19,385 人、特別支援学級 86 学級、児童数 606 人となっており、中学校においては、通常の学級 278 学級、生徒数 9,491 人、特別支援学級 41 学級、生徒数 278 人となっています。



2025 年 5 月 1 日 児童・生徒数/学級数（通常学級）

2025年5月8日 作成

2025年5月1日 児童・生徒数 /学級数 （通常の学級）		児 童 ・ 生 徒 数							学 級 数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	1	町田第一小学校	109	100	124	104	108	119	664	4	3	4	3	4	22
	2	町田第二小学校	50	62	68	64	68	58	370	2	2	2	2	2	12
	3	町田第三小学校	79	63	75	74	84	60	435	3	2	3	3	3	16
	4	町田第四小学校	82	94	94	81	94	105	550	3	3	3	3	3	18
	5	町田第五小学校	68	86	64	104	85	103	510	2	3	2	3	3	16
	6	町田第六小学校	56	55	64	57	62	38	332	2	2	2	2	2	12
	7	南大谷小学校	91	95	104	113	88	93	584	3	3	3	4	3	19
	8	藤の台小学校	68	76	63	86	61	97	451	2	3	2	3	2	15
	9	本町田ひなた小学校	67	48	73	75	87	55	405	2	2	3	3	3	15
	10	南第一小学校	99	123	102	133	106	112	675	3	4	3	4	3	21
	11	南第三小学校	76	57	57	60	68	61	379	3	2	2	2	2	13
	12	南第四小学校	78	83	97	88	96	77	519	3	3	3	3	3	18
	13	つくし野小学校	61	51	60	50	71	68	361	2	2	2	2	3	13
	14	小川小学校	72	63	62	70	72	73	412	3	2	2	2	3	15
	15	成瀬台小学校	88	105	93	101	100	106	593	3	3	3	3	3	18
	16	鶴間小学校	94	104	101	102	113	94	608	3	3	3	3	4	19
	17	高ヶ坂小学校	43	55	47	52	50	58	305	2	2	2	2	2	12
	18	成瀬中央小学校	47	44	58	76	66	57	348	2	2	2	3	2	13
	19	南つくし野小学校	148	164	134	142	152	127	867	5	5	4	5	5	28
	20	成瀬小学校	101	85	109	105	105	108	613	3	3	4	3	3	19
	21	鶴川第一小学校	117	101	100	130	111	116	675	4	3	3	4	4	22
	22	鶴川第二小学校	72	65	82	73	74	86	452	3	2	3	3	3	17
	23	鶴川第三小学校	48	54	52	61	75	76	366	2	2	2	2	3	14
	24	鶴川第四小学校	63	67	60	69	83	67	409	2	2	2	2	3	13
	25	金井小学校	62	92	75	89	81	80	479	2	3	3	3	3	17
	26	大蔵小学校	88	97	98	112	102	117	614	3	3	3	4	3	20
	27	三輪小学校	85	84	69	80	73	76	467	3	3	2	3	3	17
	28	忠生小学校	80	70	70	67	84	60	431	3	2	2	2	3	14
	29	小山田小学校	32	37	29	37	28	37	200	1	2	1	2	1	9
	30	忠生第三小学校	108	113	97	102	111	97	628	4	4	3	3	4	21
	31	山崎小学校	47	39	54	44	64	65	313	2	2	2	2	2	12
	32	小山田南小学校	86	76	79	89	78	82	490	3	3	3	3	3	18
	33	木曾境川小学校	74	62	87	59	66	82	430	3	2	3	2	2	15
	34	七国山小学校	71	67	80	77	75	86	456	3	2	3	3	3	17
	35	図師小学校	71	70	67	86	79	83	456	3	2	2	3	3	16
	36	小山小学校	101	99	98	117	108	130	653	3	3	3	4	4	21
	37	小山ヶ丘小学校	113	133	123	159	125	129	782	4	4	4	5	4	25
	38	小山中央小学校	97	98	109	128	103	113	648	3	3	4	4	3	21
	39	相原小学校	59	68	49	54	63	57	350	2	2	2	2	2	12
	40	小中一貫校のき学園(大戸小学校)	16	12	10	17	27	23	105	1	1	1	1	1	6
		計	3,067	3,117	3,137	3,387	3,346	3,331	19,385	109	104	105	115	115	661
	1	町田第一中学校	226	263	252				741	7	7	7			21
	2	町田第二中学校	154	140	145				439	5	4	4			13
	3	町田第三中学校	129	120	136				385	4	4	4			12
	4	南大谷中学校	134	146	165				445	4	4	4			12
	5	南中学校	273	242	227				742	7	7	6			20
	6	つくし野中学校	268	237	278				783	8	6	7			21
	7	成瀬台中学校	143	159	147				449	4	4	4			12
	8	南成瀬中学校	143	147	166				456	4	4	5			13
	9	鶴川中学校	137	176	217				530	4	5	6			15
	10	鶴川第二中学校	248	232	208				688	8	6	6			20
	11	栗師中学校	109	80	97				286	4	2	3			9
	12	真光寺中学校	63	69	83				215	2	2	3			7
	13	金井中学校	151	140	164				455	4	4	5			13
	14	忠生中学校	199	170	217				586	6	5	6			17
	15	山崎中学校 (通常の学級)	82	93	103				278	3	3	3			9
		山崎中学校 (学びの多様な学校分教室)	5	1	6				12	1	1	1			3
	16	木曾中学校	89	112	94				295	3	3	3			9
	17	小山田中学校	114	134	126				374	4	4	4			12
	18	小山中学校	212	228	253				693	7	6	7			20
	19	堺中学校	184	196	204				584	6	5	6			17
	20	小中一貫校のき学園(武蔵岡中学校)	24	18	13				55	1	1	1			3
		計	3,087	3,103	3,301				9,491	96	87	95			278

2025 年 5 月 1 日 児童・生徒数/学級数（特別支援学級）

2025年5月8日 作成

		種別	児童・生徒数							学級数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
2025年5月1日現在 児童・生徒数／学級数（特別支援学級）	1	町田第一小学校	知的 3 情緒 8	5 5	3 7	4 5	8 7	2 4	25 36	4 5
	2	町田第二小学校	知的 4	3	5	2	4	6	24	3
	5	町田第五小学校	知的 0	1	1	1	2	1	6	1
	6	町田第六小学校	肢 0	5	2	1	3	2	13	2
	7	南大谷小学校	知的 2	6	3	3	5	8	27	4
	8	藤の台小学校	知的 3	5	4	3	3	5	23	3
	9	本町田ひなた小学校	知的 3 情緒 4	3 5	7 10	5 7	6 8	6 10	30 44	4 6
	12	南第四小学校	知的 5 情緒 4	4 3	6 9	10 7	3 3	4 3	32 29	4 4
	19	南つくし野小学校	知的 1	6	5	5	5	3	25	4
	20	成瀬小学校	知的 5	3	6	6	5	3	28	4
	24	鶴川第二小学校	知的 1	3	4	1	2	3	14	2
	24	鶴川第四小学校	知的 3 情緒 4	3 0	4 2	5 3	3 4	4 7	22 20	3 3
	25	金井小学校	知的 3	1	7	1	2	4	18	3
	28	忠生小学校	知的 2 情緒 1	3 0	2 3	3 1	5 1	2 2	17 8	3 1
	32	小山田南小学校	知的 6	2	5	5	2	4	24	3
	33	木曽境川小学校	知的 3	9	4	3	2	3	24	3
	34	七国山小学校	知的 5	1	5	3	5	5	24	3
	36	小山小学校	知的 1	1	4	5	5	8	24	3
	37	小山ヶ丘小学校	知的 1	1	3	5	4	1	15	2
	38	小山中央小学校	知的 1 情緒 4	2 2	1 3	3 3	1 2	2 4	10 18	2 3
	40	相原小学校	知的 6	2	5	5	6	2	26	4
	計		83	84	120	105	106	108	606	86
	1	町田第一中学校	知的 17 肢 1	13 1	8 1				38 3	5 1
	3	町田第三中学校	情緒 7	10	8				25	4
	4	南大谷中学校	知的 6	8	6				20	3
	5	南中学校	知的 7	3	7				17	3
	6	つくし野中学校	知的 3	5	8				16	2
	7	成瀬台中学校	知的 6	2	5				13	2
	9	鶴川中学校	知的 11	6	3				20	3
	11	薬師中学校	知的 5	8	7				20	3
	14	忠生中学校	知的 12	15	13				40	5
	15	山崎中学校	知的 9	4	6				19	3
	18	小山中学校	知的 9	11	1				21	3
	19	堺中学校	知的 11	5	10				26	4
	計		104	91	83				278	41

2025 年 5 月 1 日 児童数/学級数（通級指導学級等）

		種別	児 童 数							学級数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
（ 2 0 2 5 年 級 年 指 導 現 在 児 童 数 等 ／ 学 級 数	町田第一小学校	特別支援教室	6	8	11	9	1	4	39	
	町田第二小学校	特別支援教室	1	6	6	1	5	2	21	
	町田第三小学校	特別支援教室	5	4	4	7	5	1	26	
	町田第四小学校	特別支援教室	6	5	8	2	7	9	37	
		言 語	17	16	10	6	7	2	58	3
	町田第五小学校	特別支援教室	3	6	5	5	2	9	30	
	町田第六小学校	特別支援教室	3	4	10	2	1	1	21	
	南大谷小学校	特別支援教室	14	17	4	4	2	2	43	
	藤の台小学校	特別支援教室	3	1	2	6	6	6	24	
	本町田ひなた小学校	特別支援教室	8	6	5	4	1	1	25	
	南 第 一 小 学 校	特別支援教室	3	6	5	4	2	2	22	
	南第三小学校	特別支援教室	9	4	4	8	3	2	30	
		弱 視	0	0	0	0	1	1	2	1
		難 聴	0	0	2	1	2	0	5	1
	南 第 四 小 学 校	特別支援教室	7	7	13	2	4	3	36	
	つくし野小学校	特別支援教室	3	6	4	4	5	2	24	
	小 川 小 学 校	特別支援教室	4	9	9	8	8	1	39	
	成瀬台小学校	特別支援教室	4	14	2	2	5	7	34	
	鶴 間 小 学 校	特別支援教室	3	8	9	4	3	6	33	
	高ヶ坂小学校	特別支援教室	5	6	8	3	4	2	28	
	成瀬中央小学校	特別支援教室	3	5	4	4	4	1	21	
		言 語	5	22	12	4	6	2	51	3
	南つくし野小学校	特別支援教室	4	11	10	6	3	3	37	
	成瀬小学校	特別支援教室	7	7	11	9	20	9	63	
	鶴川第一小学校	特別支援教室	7	10	5	5	2	3	32	
	鶴川第二小学校	特別支援教室	4	0	2	6	1	0	13	
	鶴川第三小学校	特別支援教室	2	2	3	4	3	3	17	
	鶴川第四小学校	特別支援教室	4	5	6	1	6	0	22	
	金井小学校	特別支援教室	1	6	2	3	3	1	16	
	大蔵小学校	特別支援教室	6	10	8	10	4	2	40	
	三輪小学校	特別支援教室	4	4	2	5	3	0	18	
	忠生小学校	特別支援教室	2	1	5	2	4	0	14	
	小山田小学校	特別支援教室	1	5	1	4	0	2	13	
	忠生第三小学校	特別支援教室	4	10	4	8	3	6	35	
	山崎小学校	特別支援教室	1	9	9	10	7	6	42	
		難 聴	0	0	0	2	0	1	3	1
	小山田南小学校	特別支援教室	6	10	6	8	3	3	36	
	木曽境川小学校	特別支援教室	5	7	4	3	4	0	23	
	七国山小学校	特別支援教室	5	14	12	10	14	3	58	
	図師小学校	特別支援教室	1	6	6	12	5	1	31	
	小山小学校	特別支援教室	2	3	8	10	3	6	32	
	小山ヶ丘小学校	特別支援教室	5	5	2	2	3	3	20	
	小山中央小学校	特別支援教室	8	8	7	12	6	3	44	
	相原小学校	特別支援教室	5	8	2	5	1	0	21	
	大戸小学校	特別支援教室	2	2	1	1	1	2	9	
	計		198	303	253	228	183	123	1,288	

2025 年 5 月 1 日 生徒数/学級数（通級指導学級等）

（ 2025 年 5 月 1 日現在 通級指導学級生徒数／学級数 ）		種別	生徒数							学級数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
	町田第一中学校	特別支援教室	7	10	7				24	
	町田第二中学校	難聴	4	3	2				9	1
		特別支援教室	10	7	2				19	
	町田第三中学校	特別支援教室	7	11	5				23	
	南大谷中学校	特別支援教室	2	9	4				15	
	南中学校	特別支援教室	8	22	13				43	
	つくし野中学校	特別支援教室	0	4	5				9	
	成瀬台中学校	特別支援教室	3	10	0				13	
	南成瀬中学校	特別支援教室	6	11	4				21	
	鶴川中学校	特別支援教室	4	4	6				14	
	鶴川第二中学校	特別支援教室	8	3	9				20	
	薬師中学校	特別支援教室	5	2	1				8	
	真光寺中学校	特別支援教室	2	6	3				11	
	金井中学校	特別支援教室	5	6	4				15	
	忠生中学校	特別支援教室	10	7	8				25	
	山崎中学校	特別支援教室	0	4	2				6	
	木曾中学校	特別支援教室	1	6	6				13	
	小山田中学校	特別支援教室	5	5	5				15	
	小山中学校	特別支援教室	5	19	20				44	
	堺中学校	特別支援教室	1	4	5				10	
	武蔵岡中学校	特別支援教室	0	3	0				3	
	計		93	156	111				360	

※１・・・種別欄の「特別支援教室」は、情緒障がい等のある児童・生徒を対象とし、各学校に指導を行うための教室を設置し、教員が児童・生徒の在籍校を巡回して指導を行うものです。町田市では、2021 年度に全ての小・中学校に設置が完了しました。なお、特別支援教室については、学級数としてのカウントを行わないため、学級数に斜線を引いています。

※２・・・通級指導学級等の在籍児童・生徒は、平常は通常の学級で勉強し、特定の時間だけ、通級指導学級等で指導を受けているため、学級編制上は通常の学級の人数としてカウントされます。

児童・生徒数・学級数の推移（通常の学級）

（各年５月１日現在）

年度	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	学級数	児童・生徒数
1990	44	719	24,162	20	355	13,520	64	1,074	37,682
1991	44	711	23,376	20	350	12,912	64	1,061	36,288
1992	44	698	22,699	20	333	12,221	64	1,031	34,920
1993	44	681	22,171	20	313	11,512	64	994	33,683
1994	44	672	21,605	20	303	11,047	64	975	32,652
1995	44	655	20,968	20	291	10,554	64	946	31,522
1996	44	638	20,104	20	291	10,420	64	929	30,524
1997	44	613	19,444	20	281	10,110	64	894	29,554
1998	44	613	19,062	20	275	9,892	64	888	28,954
1999	44	604	18,747	20	262	9,471	64	866	28,218
2000	44	600	18,675	20	257	9,182	64	857	27,857
2001	43	603	18,831	20	252	8,893	63	855	27,724
2002	41	616	19,411	20	247	8,725	61	863	28,136
2003	39	628	20,013	20	241	8,453	59	869	28,466
2004	39	639	20,582	20	240	8,287	59	879	28,869
2005	40	656	21,418	20	236	8,215	60	892	29,633
2006	40	669	21,973	20	242	8,393	60	911	30,366
2007	40	686	22,572	20	244	8,660	60	930	31,232
2008	40	696	23,111	20	255	9,091	60	951	32,202
2009	41	710	23,398	20	259	9,235	61	969	32,633
2010	42	715	23,687	20	265	9,444	62	980	33,131
2011	42	720	23,554	19	272	9,732	61	992	33,286
2012	42	735	23,407	20	281	10,076	62	1,016	33,483
2013	42	726	23,259	20	291	10,398	62	1,017	33,656
2014	42	724	23,020	20	294	10,576	62	1,018	33,596
2015	42	712	22,740	20	301	10,696	62	1,013	33,436
2016	42	714	22,476	20	301	10,700	62	1,015	33,176
2017	42	708	22,347	20	293	10,395	62	1,001	32,742
2018	42	695	21,957	20	290	10,263	62	985	32,220
2019	42	684	21,538	20	286	10,078	62	970	31,616
2020	42	674	21,064	20	289	10,103	62	963	31,167
2021	42	661	20,727	20	289	10,036	62	950	30,763
2022	42	671	20,451	20	285	9,999	62	956	30,450
2023	42	666	19,957	20	285	9,883	62	951	29,840
2024	42	668	19,664	20	280	9,708	62	948	29,374
2025	40	661	19,385	20	278	9,491	60	939	28,876

児童・生徒数・学級数の推移（特別支援学級）

（各年５月１日現在）

年度	小 学 校		中 学 校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童・生徒数
1990	30	113	13	67	43	180
1991	30	120	13	63	43	183
1992	30	123	14	61	44	184
1993	31	130	12	62	43	192
1994	35	123	12	62	47	185
1995	36	119	16	66	52	185
1996	36	139	16	68	52	207
1997	38	145	15	64	53	209
1998	36	152	15	67	51	219
1999	37	146	17	77	54	223
2000	38	160	21	86	59	246
2001	39	160	20	93	59	253
2002	31	167	15	85	46	252
2003	36	199	15	81	51	280
2004	37	222	16	98	53	320
2005	41	246	17	104	58	350
2006	44	268	22	125	66	393
2007	51	299	20	120	71	419
2008	48	302	23	148	71	450
2009	48	312	27	179	75	491
2010	51	320	30	209	81	529
2011	51	314	34	221	85	535
2012	51	318	31	205	82	523
2013	52	331	30	197	82	528
2014	53	332	29	184	82	516
2015	55	347	30	192	85	539
2016	65	402	29	202	94	604
2017	67	434	32	213	99	647
2018	64	451	31	212	95	663
2019	70	489	32	219	102	708
2020	73	509	35	237	108	746
2021	77	517	35	232	112	749
2022	75	508	37	253	112	761
2023	76	527	36	245	112	772
2024	82	556	40	265	122	821
2025	86	606	41	278	127	884

（４）通学区域

小・中学校では、住所により通学する学校（指定校）が定められています。これは、市内に小学校または中学校が２校以上あるときには、就学すべき学校を指定しなければならないとする学校教育法施行令第５条第２項の規定を根拠としています。この指定された学校に通学すべき地域を通学区域といいます。

（５）通学区域緩和制度及び就学指定校変更制度

通学区域緩和制度及び就学指定校変更制度（以下「学区外通学制度」という。）は、入学に際し、保護者やお子さんが通学区域により指定された学校（指定校）以外の小・中学校への入学を希望できる制度です。希望できる対象学年は、翌年度に入学する新小学１年生、新中学１年生で、２年生以上の児童・生徒は対象になりません。

町田市では２００４年４月入学者から、通学区域緩和制度の前身である学校選択制度を実施していましたが、２０１１年７月に「町田市立学校選択制度等検討委員会」を発足し、制度の在り方について再検討を行いました。

その結果、児童の通学上の安全を確保するために、小学校については、入学希望校を居住地に関わらず自由に選択できる自由選択制から、指定校の隣接校とする隣接区域選択制への変更等を行い、名称を現在の「通学区域緩和制度」に改め、２０１３年度入学者から運用を開始しています。

また、町田市が定める許可基準（例：兄弟姉妹関係等）に該当する場合、保護者の申し出により学区外の学校への入学を認める「就学指定校変更制度」も併せて運用しています。２０２５年度からは学校統合に伴う要件を追加し受入枠を設置しています。

２０２５年４月入学者の申請からは、学区外通学の希望者がより制度を利用しやすくするために、申請期限を第一次申請期限に加え、第一次申請期限までに申請数が受入枠に達しない場合は、第二次申請期限まで期限を延長できるようにしました。

２００４年度の制度発足以来、多くの児童・生徒がこの制度により希望の小・中学校に入学しています。

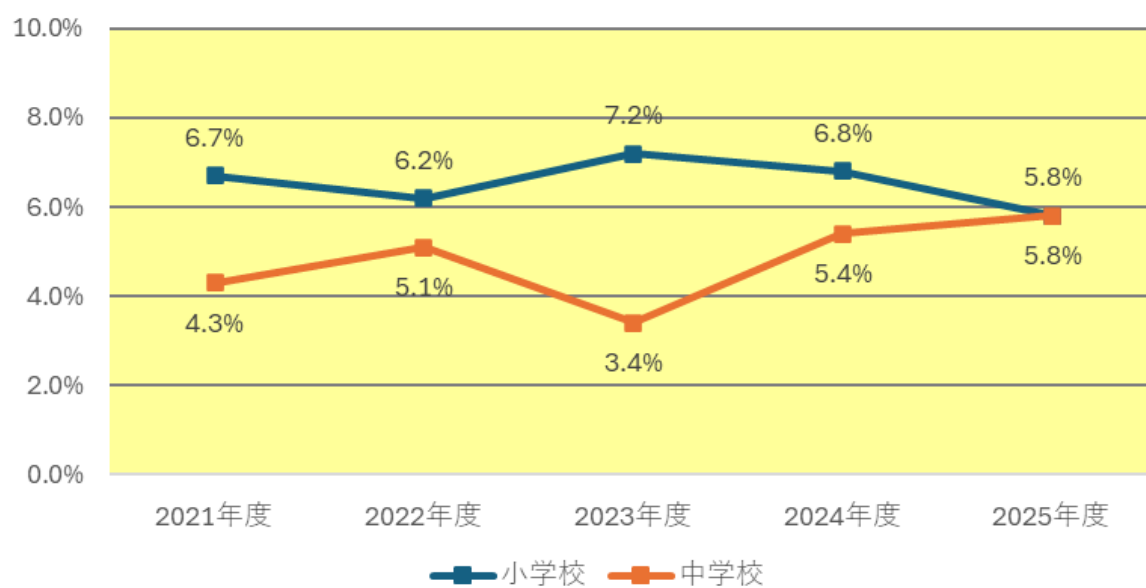
入学児童・生徒数と通学区域緩和制度等の利用者数（人）

（各年度入学時点）

年度 区分		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
新小学 １年生	入学児童数	3,263	3,349	3,105	3,085	3,064
	うち制度利用者 数	218	206	224	210	178
新中学 １年生	入学生徒数	3,255	3,314	3,250	3,073	3,077
	うち制度利用者 数	141	170	109	165	179

※２０２５年度からは、学校統合に伴う就学指定校変更制度の利用者数を含みます。

通学区域緩和制度等利用率の推移



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
小学校	6.7%	6.2%	7.2%	6.8%	5.8%
中学校	4.3%	5.1%	3.4%	5.4%	5.8%



２．教育環境

子どもたちの学校生活や学習活動をより充実させるため、学校施設や学校図書館などの教育環境の整備を進めています。

（１）学校施設

① 学校施設一覧

(2025 年 5 月 1 日現在)

小学校	体育館		25m プール		校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
町田第一小学校	平 14. 9	1,259	平 14. 9	10	12,511	4,958	645	5,603	29	13
町田第二小学校	昭 48. 3	668	昭 44. 7	11	10,312	4,330	74	4,404	15	13
町田第三小学校	昭 49. 11	684	昭 46. 7	12	13,892	4,823	406	5,229	16	14
町田第四小学校	昭 49. 6	691	昭 44. 7	13	15,677	5,490	85	5,575	18	19
町田第五小学校	昭 48. 3	681	昭 44. 7	9	12,426	5,314	26	5,340	19	15
町田第六小学校	昭 47. 3	701	昭 44. 7	10	15,702	5,559	151	5,710	15	16
南大谷小学校	昭 51. 9	706	昭 49. 7	10	14,099	5,258	192	5,450	22	12
藤の台小学校	昭 49. 11	726	昭 48. 7	10	13,322	5,835	92	5,927	18	17
※ ¹ ※ ⁴ 本町田ひなた小学校	(昭 53. 6)	659	(昭 52. 6)	10	17,509	5,746	172	5,918	26	11
南第一小学校	昭 46. 2	675	昭 57. 3	10	13,650	5,708	59	5,767	21	12
南第三小学校	昭 49. 9	723	昭 52. 6	10	11,531	4,964	68	5,032	13	20
南第四小学校	昭 48. 10	678	昭 44. 7	10	15,825	5,323	299	5,622	24	14
つくし野小学校	昭 48. 3	668	昭 46. 7	10	15,197	4,156	106	4,262	13	12
小川小学校	昭 52. 8	703	昭 50. 7	10	16,076	5,776	51	5,827	15	20
成瀬台小学校	昭 52. 7	703	昭 50. 6	10	16,513	6,483	85	6,568	18	21
鶴間小学校	昭 53. 7	710	昭 52. 6	10	19,916	5,115	361	5,476	21	11
高ヶ坂小学校	昭 54. 5	683	昭 53. 6	10	18,639	3,656	948	4,604	12	11
成瀬中央小学校	昭 55. 3	682	昭 54. 6	10	16,509	4,720	169	4,889	13	10
※ ⁵ 成瀬小学校	昭 55. 5	780	昭 55. 6	10	16,228	6,139	13	6,152	22	17
南つくし野小学校	昭 55. 3	694	昭 55. 5	10	14,653	6,166	226	6,392	32	10
鶴川第一小学校	平 31. 3	1198	昭 44. 8	10	17,263	7,450	0	7,450	24	18
鶴川第二小学校	昭 48. 2	668	昭 41. 6	10	21,571	5,442	1,111	6,553	22	17
鶴川第三小学校	昭 49. 11	724	昭 44. 8	10	19,828	6,846	27	6,873	15	33
鶴川第四小学校	昭 49. 12	724	昭 46. 7	10	19,829	6,824	94	6,918	22	20
金井小学校	昭 53. 5	708	昭 53. 7	10	16,072	5,361	71	5,432	19	12
大蔵小学校	昭 55. 3	695	昭 55. 7	10	19,223	5,394	1,119	6,513	20	18

小学校	体育館		25m プール		校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
三輪小学校	昭 57. 7	725	昭 57. 7	10	13,812	4,364	662	5,026	17	13
※ ² 忠生小学校	昭 47. 3	668	昭 45. 9	10	14,228	5,234	1,330	6,564	21	20
小山田小学校	昭 55. 11	888	昭 55. 10	10	18,617	4,157	782	4,939	9	14
忠生第三小学校	昭 51. 6	689	昭 44. 7	10	13,138	5,586	82	5,668	21	18
山崎小学校	昭 55. 3	732	昭 55. 6	10	16,299	5,236	141	5,377	12	14
小山田南小学校	昭 59. 3	710	昭 59. 5	10	17,833	6,321	670	6,991	21	18
※ ¹ 木曽境川小学校	(昭 53. 5)	681	(昭 52. 6)	10	16,735	5,501	225	5,726	19	15
※ ¹ 七国山小学校	(昭 51. 3)	653	(昭 51. 6)	10	22,772	4,914	1,294	6,208	23	14
図師小学校	平 21. 3	1,161	平 21. 3	11. 4	20,542	7,043	0	7,043	19	21
小山小学校	昭 51. 9	714	昭 53. 6	10	20,716	6,433	301	6,734	24	19
小山ヶ丘小学校	平 17. 3	1,045	平 17. 3	10	16,404	8,402	0	8,402	27	20
小山中央小学校	平 22. 2	1,101	平 22. 2	11. 2	29,125	8,236	756	8,992	28	21
相原小学校	昭 48. 3	668	昭 61. 5	10	13,246	5,965	33	5,998	16	18
※ ³ 大戸小学校	昭 58. 4	753	昭 58. 5	10	26,738	5,436	0	5,436	9	19

※¹ 学校適正規模適正配置事業による統合校です。（ ）内は、統合年月ではなく、旧施設が完成した年月です。

※² 忠生第一小学校は、2011 年 9 月 1 日から、校名を忠生小学校に変更しました。

※³ 大戸小学校は小中一貫校（大戸小学校と武蔵岡中学校をあわせて「ゆくのき学園」）として整備したため、大戸小学校の教室数には中学校で使用している教室も含まれます。

※⁴ 本町田東小学校と本町田小学校は、2025 年 4 月 1 日に統合して本町田ひなた小学校になりました。新校舎建設の間は、旧本町田小学校の校舎を使用します。

※⁵ 南第二小学校と南成瀬小学校は、2025 年 4 月 1 日に統合して成瀬小学校になりました。新校舎建設の間は、旧南成瀬小学校の校舎を使用します。

(2025 年 5 月 1 日現在)

中学校	体育館		25m プール		校地 面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
町田第一中学校	平 4. 8	1,366	平 4. 8	11	15,112	11,830	106	11,936	28	29
町田第二中学校	昭 57. 3	976	昭 43. 8	11	17,684	6,670	208	6,878	13	26
町田第三中学校	昭 47. 3	702	昭 44. 12	11	14,196	5,470	78	5,548	15	20
南大谷中学校	昭 51. 7	944	昭 50. 6	11	19,026	6,354	603	6,957	16	22
南中学校	平 11. 2	1,924	平 11. 2	11	24,928	7,099	94	7,193	23	23
つくし野中学校	昭 51. 6	983	昭 51. 7	11	16,527	7,676	141	7,817	26	22
成瀬台中学校	昭 54. 5	992	昭 54. 6	11	16,502	8,231	143	8,374	14	28
南成瀬中学校	昭 57. 3	1,084	昭 57. 3	11	19,962	6,667	0	6,667	13	26

中学校	体育館		25m プール		校地 面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普通	特別
鶴川中学校	平 14. 1	1,293	平 14. 1	11	19,656	10,821	82	10,903	19	26
鶴川第二中学校	昭 48. 10	772	昭 48. 8	11	16,520	7,544	146	7,690	20	20
薬師中学校	昭 47. 3	710	昭 46. 7	11	20,048	6,539	83	6,622	12	23
真光寺中学校	昭 55. 5	947	昭 55. 6	11	17,940	6,244	148	6,392	8	19
金井中学校	昭 59. 5	1,048	昭 59. 5	11	20,323	5,385	213	5,598	13	17
忠生中学校	平 5. 8	2,206	平 5. 8	11	22,021	7,966	86	8,052	23	23
山崎中学校	昭 54. 5	1,005	昭 54. 6	11	22,042	6,813	160	6,973	13	21
木曽中学校	昭 58. 3	1,031	昭 58. 5	11	21,599	6,455	0	6,455	11	19
小山田中学校	昭 59. 3	1,085	昭 59. 3	11	21,274	5,312	949	6,261	12	20
小山中学校	平 24. 2	1,231	平 24. 2	13	26,148	9,361	0	9,361	22	25
堺中学校	平 20. 2	1,234	平 20. 2	11	14,907	7,600	66	7,666	21	18
武蔵岡中学校	昭 58. 5	904	昭 58. 5	11	29,574	3,842	0	3,842	0	11

② 学校施設の整備

小・中学校の耐震補強工事が 2010 年度に完了し、学校施設の耐震化率は 100%になりました。2011 年度以降は、学習環境の改善を目的として、トイレ改修や航空機騒音軽減のための施設の防音化、普通教室や特別教室への空調機設置を進めるとともに、防災機能の強化を目的として、体育館等の高所に設置された設備等の落下防止を進めてきました。2019 年度からは、児童・生徒の熱中症対策と教育環境の改善及び避難施設の環境整備を図るため、体育館に空調設備を設置するとともに、避難施設の機能向上を図るため、非常用発電設備等の設置や体育館アリーナ照明の LED 化を進め、2021 年度に小中学校全 62 校への設置が完了しました。

改築事業では、2019 年度に鶴川第一小学校、2021 年度に町田第一中学校（校舎）で事業が完了し、2022 年度からは新たな学校づくり推進計画及び町田市立学校個別施設計画学校整備計画編に基づき、学校統合や老朽化した校舎等の建替えに向けた準備を進めています。

改修事業では、施設の老朽化対策を目的に、2019 年度から 2022 年度にかけて、校舎外壁や屋上防水等の校舎外回りを中心とした中規模改修工事を小・中学校 2 学校で実施しました。また、2021 年度から 2 カ年で、施設の防音化対策の一環として中学校 1 校で老朽化した空調設備の更新工事を、2023 年度から 2 カ年で、施設のバリアフリー化として中学校 4 校でエレベーターの設置工事を実施しました。

加えて、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数標準に関する法律」の一部改正により 40 人学級から 35 人学級への対応が必要となったため、これまでに小学校 2 校で校舎の増築工事を実施しました。

2024 年度 主な整備実績

工事内容	小学校	中学校
エレベーター設置工事	-	町田第二中学校 南大谷中学校 鶴川第二中学校 真光寺中学校

③ 学校施設増改築のあゆみ

※建築面積とは保有面積のことであり、数値は建築時のものです。

学 校 名	1 期				2 期				3 期				4 期				5 期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
町田第一小学校	昭44.7	給(140) 3,947㎡	26	4	平14.9	1,032㎡	0	3	令5.3	608㎡	4	1								
町田第二小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭45.8	給(144) 1,600㎡	9	1	昭47.9	370㎡			昭55.8	911㎡	4	2				
町田第三小学校	昭41.3	747㎡	4	2	昭43.7	571㎡	6	0	昭45.10	給(146) 1,782㎡	10	1	昭49.11	1,857㎡	7	4				
町田第四小学校	昭46.5	1,244㎡	11	0	昭47.9	給(200) 1,236㎡	5	0	昭48.1	1,826㎡	11	4	昭49.6	1,198㎡	5	3				
町田第五小学校	昭42.3	630㎡	6	0	昭45.6	604㎡	3	3	昭51.8	2,907㎡	12	3	昭52.12	給(271) 1,139㎡	6	2				
町田第六小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭41.12	659㎡	3	0	昭42.9	給(151) 451㎡	5	0	昭44.6	941㎡	8	0	昭47.3	1,679㎡	5	4
南大谷小学校	昭48.12	給(293) 3,820㎡	20	4	昭51.9	1,438㎡	5	3												
藤の台小学校	昭48.3	給(347) 4,007㎡	22	5	昭49.11	1,578㎡	7	4	昭51.6	370㎡	4	0								
本町田ひなた小学校 (旧本町田小学校)	昭52.5	給(344) 5,918㎡	18	11																
南第一小学校	昭41.3	1,820㎡	10	4	昭44.2	507㎡	6	0	昭45.8	909㎡	8	0	昭54.9	給(265) 2,626㎡	4	4				
南第三小学校	昭46.3	1,185㎡	11	0	昭47.8	給(204) 488㎡	3	0	昭48.5	889㎡	5	1	昭49.9	2,402㎡	8	5				
南第四小学校	昭42.2	766㎡	4	2	昭42.10	1,260㎡	11	0	昭44.10	給(144) 960㎡	4	1	昭48.3	1,385㎡	7	2	昭52.12	999㎡	4	2
つくし野小学校	昭46.3	1,147㎡	6	1	昭47.3	給(163) 1,511㎡	9	2	昭49.10	1,711㎡	11	3								
小川小学校	昭50.3	3,025㎡	13	3	昭51.6	1,029㎡	7	0	昭52.8	666㎡	0	4	昭53.8	1,149㎡	8	3	昭51.3	給(300)		
成瀬台小学校	昭50.3	2,771㎡	11	3	昭51.5	1,846㎡	11	1	昭52.7	666㎡	0	4	昭53.8	1,413㎡	15	0	昭60.2	給(233)		
鶴間小学校	昭52.3	3,814㎡	15	5	昭53.7	1,554㎡	6	0	昭62.2	給(223)										
高ヶ坂小学校	昭53.5	3,799㎡	12	5	昭55.3	給(181)			平3.3	424㎡	0	1								
成瀬中央小学校	昭54.5	給(333) 5,088㎡	20	5																
成瀬小学校 (旧南成瀬小学校)	昭55.5	給(255) 6,127㎡	25	9																
南つくし野小学校	昭55.5	給(254) 6,461㎡	26	8	令6.3	213㎡	0	2												

学 校 名	1 期				2 期				3 期				4 期				5 期			
	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室
鶴川第一小学校	平28.3	7,367㎡	26	15	平30.3	給(485)														
鶴川第二小学校	昭48.10	1,738㎡	13	1	昭49.11	1,875㎡	10	2	昭51.6	1,730㎡	3	3		昭60.3	給(212)		平20.3	1,119㎡	4	2
鶴川第三小学校	昭42.9	2,268㎡	12	2	昭44.11	874㎡	8	0	昭47.3	1,858㎡	7	4	昭49.11	1,983㎡	8	6	昭54.3	給(321)		
鶴川第四小学校	昭46.3	3,308㎡	20	3	昭48.3	給(238) 1,665㎡	8	3	昭49.12	666㎡	0	4	昭50.6	1,178㎡	8	0				
金井小学校	昭53.3	給(293) 5,432㎡	24	5																
大蔵小学校	昭55.5	給(252) 5,554㎡	25	5	平17.11	132㎡	0	1	平19.3	443㎡	4	2	平19.3	891㎡	4	2				
三輪小学校	昭57.7	給(256) 4,349㎡	15	6	昭4.2	662㎡	4	1												
忠生小学校	昭42.1	1,406㎡	14	0	昭43.7	1,245㎡	4	2	昭45.6	781㎡	5	1	昭48.7	1,803㎡	6	4	昭57.3	給(179)		
小山田小学校	昭55.11	給(220) 4,157㎡	11	5	昭63.3	179㎡	2	0	平18.3	498㎡	2	2								
忠生第三小学校	昭49.11	2,626㎡	20	0	昭52.12	給(250) 2,882㎡	10	7												
山崎小学校	昭55.5	給(257) 5,377㎡	21	6																
小山田南小学校	昭59.3	給(244) 4,845㎡	18	5	昭60.3	1,688㎡	9	2	昭62.3	406㎡	2	1								
木曽境川小学校	平14.3	給(428) 6,407㎡	13	11																
七国山小学校	平16.3	給(395) 6,273㎡	20	9																
図師小学校	平21.3	給(394) 7,043㎡	17	19																
小山小学校	昭51.9	給(257) 5,237㎡	23	6	昭57.3	1,303㎡	8	2	平31.4	181㎡	2	0								
小山ヶ丘小学校	平17.3	給(505) 8,402㎡	26	15																
小山中央小学校	平22.2	給(485) 8,236㎡	22	17	平29.4	756㎡	4	1												
相原小学校	昭44.3	900㎡	8	0	昭46.3	488㎡	6	0	昭51.6	2,192㎡	10	4	昭52.12	給(389) 2,439㎡	6	3				
大戸小学校	昭58.5	給(251) 4,967㎡	18	6	平5.12	473㎡	2	0												

学 校 名	6期		
	年月	建築面積	普通教室 特別教室
南第四小学校	平15.3	給(88) 167㎡	
忠生小学校	平16.3	給(93) 1,338㎡	6 2

学 校 名	1 期				2 期				3 期				4 期				5 期			
	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室
町田第一中学校	令4.1 (改称)	11,936㎡	31	28																
町田第二中学校	昭47.12	1,445㎡	9	1	昭49.1	2,041㎡	14	3	昭50.12	3,052㎡	1	13								
町田第三中学校	昭43.3	2,981㎡	12	8	昭46.3	749㎡	6	0	昭47.3	683㎡	0	4	昭49.5	1,021㎡	6	2				
南大谷中学校	昭50.3	4,289㎡	18	7	昭51.7	784㎡	0	4	昭51.9	1,344㎡	7	0								
南 中 学 校	昭43.8	762㎡	9	0	昭46.3	1,226㎡	6	2	昭47.3	2,116㎡	13	1	昭52.9	2,605㎡	4	9				
つくし野中学校	昭50.7	4,643㎡	17	8	昭53.8	2,164㎡	10	4	昭61.1	1,010㎡	3	3								
成瀬台中学校	昭54.5	5,987㎡	23	10	昭56.5	1,242㎡	10	1	昭61.5	1,145㎡	0	5								
南成瀬中学校	昭57.3	6,700㎡	30	9																
鶴川中学校	平13.1	5,369㎡	13	18	平29.4	82㎡	1	0												
鶴川第二中学校	昭48.3	3,123㎡	15	3	昭48.10	818㎡	0	4	昭50.7	1,355㎡	8	2	昭57.3	2,269㎡	7	4				
葉師中学校	昭46.3	3,378㎡	12	7	昭47.3	692㎡	0	4	昭50.7	1,026㎡	7	1	昭55.3	1,492㎡	12	0				
真光寺中学校	昭55.5	6,327㎡	21	10																
金井中学校	昭59.5	5,403㎡	15	9	平30.4	181㎡	2	0												
忠生中学校	昭48.7	2,146㎡	11	4	昭49.11	4,439㎡	12	10	昭56.5	1,225㎡	10	0								
山崎中学校	昭54.5	6,103㎡	22	9	昭62.3	870㎡	0	3												
木曽中学校	昭58.5	6,487㎡	20	10																
小山田中学校	昭59.3	4,499㎡	13	8	昭60.3	748㎡	3	2	昭62.3	397㎡	0	2	昭63.3	207㎡	2	0	平7.2	345㎡	1	1
小山中学校	平24.2	9,361㎡	24	26																
堺 中 学 校	昭47.11	1,437㎡	12	0	昭48.8	2,096㎡	6	7	昭55.5	2,308㎡	4	3	昭63.2	292㎡		格教室	平20.2	3,031㎡	校舍棟及び 体育館棟	
武蔵岡中学校	昭58.5	3,133㎡	9	5	平4.1	848㎡		2												

(2) 学校図書館

学校図書館は、自由な読書活動の場として、学びの場として、子どもの成長を支える重要な拠点です。学校図書館をよりよいものとし、子どもたちの読書環境を充実させることで、豊かな知性や感性を養い「生きる力」をはぐくんでいきます。

① 町田市取組

・学校図書指導員の配置

学校図書館の充実を図るため、全校に学校図書指導員（2013 年度に学校図書ボランティアから名称変更）を配置しています。学校図書指導員は、蔵書管理、図書館の環境整備、教育指導支援（読み聞かせ、ブックトーク、委員会支援、調べ学習支援など）等を行っています。

・教員等の研修の充実

2024 年度は、学校図書館の充実に向けた知識を深めるための研修を年 3 回実施しました。対象は、司書教諭、学校図書館担当教諭及び学校図書指導員です。小・中学校の学校図書館の取組紹介、市立図書館との連携方法、電子書籍サービスや英語多読に関する説明などを通じて、学校図書館で役立つ知識を深めました。



ワークショップの様子

・市立図書館との連携

児童・生徒や学校の多様なニーズに応えるため、市立図書館では学校図書館支援貸出を実施し、市立図書館に所蔵している資料を貸し出して、学校図書館をサポートしています。

また、児童・生徒が図書館に行って調べ学習をしたり、市立図書館職員を学校に招き、授業で読み聞かせやブックトークをしたり、市立図書館の豊富な蔵書や知識・技能を有効活用しています。



小学校の学校図書館



中学校の学校図書館

② 学校図書館蔵書状況

文部科学省は、学校図書館の蔵書の充実を図るため、1993年に学校図書館図書標準を策定し、学級数に応じて整備すべき蔵書数を定めました。

教育委員会では、2013年度に「町田市立学校図書館蔵書整備計画作成指針」を策定し、各校で学校図書館図書標準の蔵書数を満たすよう計画的に蔵書の整備を進めています。2020年度末には全ての小・中学校で学校図書館図書標準の蔵書数を達成し、2024年度末もこの状態を継続しています。

さらに、2024年度には「町田市立学校図書館図書廃棄規準」を策定しました。この規準により、蔵書の適切な管理と更新を促進し、計画的に図書を廃棄・更新していくことを目指します。

今後も学校図書館の蔵書を計画的に整備するとともに、「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させます。



3. 町田市の特色ある取組

(1) 小・中学校間の連携

町田市では、学力向上の取組みや心身の発達に応じたきめ細やかな指導を行うため、小・中学校間の連携を推進し、小中学校の9年間を見通した教育活動の連続性を確保しています。

① 小中一貫（連携）教育推進地区の指定

町田市では、2013年に小・中学校全校を対象に、各中学校と、その中学校が進学先となる小学校をあわせたブロックである「小中一貫（連携）教育推進地区」を指定しました。この地区内の小・中学校が連携し、9年間を見通した、生活指導や学力向上の取組や、教員及び児童・生徒の交流などを行っています。

小中一貫（連携）教育推進地区一覧

地区	中学校	小学校			
1	町田第一中学校	町田第一小学校	町田第三小学校	町田第四小学校	
2	町田第二中学校	町田第二小学校	町田第六小学校	高ヶ坂小学校	
3	町田第三中学校	本町田ひなた小学校	忠生第三小学校		
4	南大谷中学校	町田第五小学校	南大谷小学校		
5	南中学校	南第一小学校	南第三小学校	南第四小学校	
6	つくし野中学校	つくし野小学校	小川小学校	鶴間小学校	南つくし野小学校
7	成瀬台中学校	成瀬台小学校	成瀬中央小学校		
8	南成瀬中学校	成瀬小学校			
9	鶴川中学校	鶴川第一小学校	大蔵小学校		
10	鶴川第二中学校	鶴川第二小学校	鶴川第三小学校	三輪小学校	
11	薬師中学校	藤の台小学校			
12	真光寺中学校	鶴川第四小学校			
13	金井中学校	金井小学校			
14	忠生中学校	忠生小学校	山崎小学校	図師小学校	
15	山崎中学校	七国山小学校			
16	木曽中学校	木曽境川小学校			
17	小山田中学校	小山田小学校	小山田南小学校		
18	小山中学校	小山小学校	小山中央小学校		
19	堺中学校	小山ヶ丘小学校	相原小学校		
20	武蔵岡中学校	大戸小学校			

② 小中一貫町田っ子カリキュラム

小中学校の9年間を見通した教育を推進するため、「道徳・規範教育」、「健康教育（食育）」、「キャリア教育」の領域について「小中一貫町田っ子カリキュラム」を作成し、どの小・中学校でも効果的な学習ができるよう取り組んでいます。

小中一貫町田っ子カリキュラム（道徳・規範教育・キャリア教育・健康教育（食育））の内容

	基礎期 (小学校1・2年 3・4年)	充実期 (小学校5・6年、 中学校1年)	発展期 (中学校2・3年)
小中一貫町田っ子カリキュラム 「道徳・規範教育」	ルール定着期	基礎的な教養期	実践・発展期
小中一貫町田っ子カリキュラム 「キャリア教育」	役割を自覚する学習 期	将来に対する漠然と した夢やあこがれを 抱く学習期	将来に目を向け、自 分らしさについて考 える学習期
小中一貫町田っ子カリキュラム 「健康教育（食育）」	基礎となる体験の充 実期	体験の充実と知識の 習得期	学んだことの実践期

③ 「えいごのまちだ」事業

「えいごのまちだ」事業では、子どもたちが英語に慣れ親しみ、英語に触れることのできる環境を整え、英語によるコミュニケーションを積極的に図る態度やコミュニケーション能力の育成を目指しています。教員の英語の授業を支援する「Machida English Promotion Staff (MEPS)」や外国語指導助手 ALT の配置、全小学校において5年生ではスヌーピーミュージアムとまちライブラリーで英語に親しむ校外学習、6年生ではイングリッシュフェスタ、そして小学校2年生から5年生の希望者には「放課後英語教室」を実施しています。また、全中学校において、1年生ではTOKYO GLOBAL GATEWAY 校外学習、希望校には2年生でブリティッシュヒルズへの宿泊学習、それ以外の2年生にはイングリッシュ・フェスタを実施しています。夏には、中学校2年生の希望者（人数制限有）を対象に、イングリッシュサマースクールも実施し、町田ならではの英語教育を推進しています。

併せて、習得した知識及び技能を活用して、考えや気持ちを伝え合う体験を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う言語活動中心の授業改善の推進にも取り組んでいます。

（２）学力向上

町田市では、小・中学校に通う児童・生徒の学力状況を分析し、その実態に沿った学力向上策を検討・提案する組織として、2013年度から「町田市学力向上推進委員会」を設置し、全市的に学力向上策に取り組んできました。2024年度からは、「授業改革推進委員会」を設置し、児童生徒が、

一人ひとりの特性を生かした個別最適な学び、子どもたちが相互に学び合う協働的な学びの実現を目指して、授業改革に取り組んでいます。同一地域の小・中学校が連携して、地域ごとの学力上の課題を解決するための学力向上策にも継続して取り組んでいます。

2015 年 3 月	「町田市学力向上推進プラン（第 1 次）」の策定
5 月	「第 1 回 町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒教職員、保護者、学校関係者、一般市民へ「町田市学力向上推進プラン（第 1 次）」の周知 ⇒学力向上に向けた取組及び成果の報告
2017 年 5 月	「町田市学力向上推進プラン（第 2 次）」の策定 「第 2 回 町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒一般市民へ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた町田市の学力の取組について説明
2019 年 1 月	「第 3 回町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒教職員、保護者へ学力向上に向けた取組及び成果の報告
3 月	「町田市学力向上推進プラン（第 3 次）」の策定 ⇒「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「授業をデザインする 8 つの取組」の設定
2020 年 4 月	「家庭学習推進の手引き」の改訂 ⇒小学校の教職員、保護者、児童に配布
2021 年 4 月	「指導力向上リーフレット」「町田市スタンダード授業観察シート」の作成 ⇒授業改善を図るため小中学校の教職員に配布
5 月	「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」「町田市スタンダード授業改善シート」の作成 ⇒授業改善に向けての参考資料及び学校や個人の授業力に関する実態把握として活用するため小中学校の教職員に配布
6 月	「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査結果の周知 ⇒2021 年 3 月に市内小中学校教員を対象に実施 ⇒各学校の授業改善推進プランに活用
2022 年 3 月	「町田市学力向上推進プラン（第 4 次）」の策定 ⇒学力調査や授業の実態等から分析した町田市の学力と実態と、町田市の取組
4 月	「町田市スタンダード授業改善シート」及び「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」の周知
5 月	2022 年 3 月実施「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査について、調査結果の周知
2023 年 4 月	・2023 年 1 月実施「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査について、調査結果の周知 ・「町田市スタンダード授業改善シート」及び「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」の周知

2024 年 5 月	2024 年 3 月実施「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査について、調査結果の周知
------------	---

① 町田市学力向上推進委員会及び学力向上推進委員会、授業改革推進委員会の設置

2013 年度～ 2018 年度	「町田市学力向上推進委員会」を設置 ⇒小・中学校校長会の代表や教育委員会の職員で構成 ⇒学識経験者を顧問に迎え、小・中学校に通う児童・生徒の学力向上に向け学力向上策の検討・提案
2019 年度	「学力向上推進委員会」を設置 ⇒「指導力向上リーフレット」及び「町田市スタンダード授業観察シート」、「家庭学習等のすすめ（中学校版）」の検討・提案
2020 年度	「学力向上推進委員会」を設置 ⇒「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」及び「町田市スタンダード授業改善シート」を検討・作成
2021 年度	「学力向上推進委員会」を設置 ⇒「町田市学力向上推進プラン（第4次）」及び「学力向上 MNE チャンネル」の検討・作成
2022 年度	「学力向上推進委員会」を設置 ⇒「学力向上 MNE チャンネル」の検討・作成
2023 年度	「学力向上推進委員会」を設置 ⇒「学力向上 MNE チャンネル」の更新（「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践」及び「個別最適な学びを実現する授業実践」を検討・作成）
2024 年度	「授業改革推進委員会」を設置 ⇒「MNE チャンネル」の更新（「学び続ける力」を育む授業実践を検討・作成）

② 研究指定校（指定期間：2 年間）

研究指定校は、教育委員会から受けた学校が、学力向上、体力向上、特別の教科道德、その他の教育課題に関わる実践的な研究を 2 年間行い、2 年次に行う研究指定校研究発表会で、その成果を広く市内小・中学校に発表します。

2023 年度	2024 年度
・町田第六小学校：学力向上に関する研究 ・小中一貫ゆくのき学園：キャリア教育に関する研究	
2024 年度	2025 年度
・金井小学校：学び続ける力の向上 ・堺中学校：学び続ける力の向上 ・町田第一小学校：教育プランに係る研究 ・町田第二中学校：魅力ある学校づくり ・南第四小学校：体育健康教育	

③ 未来の学び指定校（指定期間：1年間または2年間）

学習に関連した教育データ（学習ドリルソフトの達成度情報や授業の振り返りに関する情報）を継続的に収集・視覚化していくことで、教員や児童・生徒が実情を把握・分析したり、授業改善や児童・生徒の学び続ける力の向上につなげたりする研究活動を行っています。研究の成果として、電子データによる普及を行い、成果を還元することで、町田市における教育データ利活用の改善につなげます。

2024 年度	
・大蔵小学校：アセスメントを活用した授業改善	
2024 年度	2025 年度
・高ヶ坂小学校：教育データの利活用 ・町田第三中学校：教育データの利活用	

（３）体力向上

町田市では、児童・生徒の体力の向上に向けて、次の取組を実施しています。

① 学校の取組

○「体育科」「保健体育科」の授業改善

以下の取組を通して、運動が苦手な子どもも体を動かす楽しさを味わい、自分の体のことをきちんと理解できる授業づくりを目指し、全小中学校で取組を工夫しています。

- ・意欲や技能を高める「ウォーミングアップ」の工夫
- ・9年間を見通した「体づくり運動」の充実
- ・ゴール型ゲーム「町田ボール」の実践（小学校）
- ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善

○授業以外の工夫

朝の時間や休み時間、部活動等を利用して、体を楽しく動かす活動の推進や場の工夫を行います。子どもたちが運動・スポーツに親しめるような環境づくりを通して、運動の楽しさを授業以外の活動でも体感してもらい、運動の日常化を図ります。

○健康教育の推進

子どもたちが、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成する保健教育を進めていきます。また、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育んでいくための基礎を身に付けられるようにします。

・基本的な生活習慣の推進

基本的な生活習慣を身に付けるための取組の実施など

・保健教育の推進

運動領域と保健領域を関連させた指導、各教科等の特質を生かした横断的な指導など

・食育の推進

町田市立小・中学校朝食レシピコンテストの実施など

② 町田市小学校連合体育大会

体力の向上や豊かなスポーツライフの実現を図ることを目的として、2019 年度は、2020 年度から小学校連合体育大会の全校実施に向けた、プレ大会（14 校参加）を実施いたしました。なお、2020 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、小学校 20 校で実施いたしました。2024 年度は、バス借上げ料高騰の影響で、近隣小学校（2～3 校）ごとで実施することとし、42 校を 18 グループに分けて実施しました。

2024 年度 町田市小学校連合体育大会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
9 月～10 月	各グループの会場校	市立小学校 38 校 ※2 グループ（4 校）雨天中止	各小学校の 6 年生

③ 町田市中学校連合体育大会

生徒にスポーツ実践の機会を与え、体力、技能の向上や、心身ともに健康な生徒の育成を目指し、スポーツ交流を通じて各学校間の親睦を図ることを目的として、町田市中学校連合体育大会を開催しています。2024 年度は、中学校全 20 校で実施をしました。

2024 年度 町田市中学校連合体育大会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
10 月 22 日	町田 GION スタジアム	市立中学校	各中学校の選抜選手

④ 体力向上パワーアップ DAY

子どもたちが生涯を通じて運動に親しむきっかけを作るため、町田市を 6 地区に分けて、地区ごとに「体力向上パワーアップ DAY」を開催しています。

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
第 1 地区	中止	中止	第 2 地区	第 3 地区	第 4 地区	第 5 地区	第 6 地区

※2024 年度は、下記のとおり実施しました。

○実施地区 第 4 地区（町田第一小学校、町田第二小学校、町田第三小学校、町田第四小学校、町田第五小学校、藤の台小学校、本町田東小学校）

○日 時 2024年10月26日（土）
○会 場 町田第一小学校 校庭
○内 容 様々な運動体験（FC町田ゼルビアとのボール遊び）

※2025 年度は、下記のとおり実施する予定です。

○実施地区 第 5 地区（町田第六小学校、南大谷小学校、成瀬台小学校、高ヶ坂小学校、成瀬中央小学校、成瀬小学校）

○日 時 2025 年 10 月 24 日（土）
○会 場 高ヶ坂小学校
○内 容 様々な運動体験（FC 町田ゼルビアとのボール遊び）

（４）防災教育

小・中学校では、月１回の避難訓練日を教育課程に位置付け、学校生活のあらゆる時間帯での地震・火災等を想定して避難の方法や行動の仕方を確実に身に付けさせるための訓練を行っています。

また、９月１日の「防災の日」には、小学校では保護者への引き渡し訓練、中学校では下校計画に基づいて帰路の安全を確認の上、帰宅方面別に集団下校等を行っています。

授業においては、防災教育デジタル教材「防災ノート～災害と安全～」(東京都教育委員会作成)などを活用した防災教育を行っています。また、安全教育プログラムに基づき危険を予測し回避する能力の育成や、緊急地震速報発令時の対応、首都直下地震等の様々な災害に対する備えや対応などについても学習しています。

2021年度からは、学校安全計画を作成し、安全指導と安全教育を系統的に進めています。

（５）エデュケーション・アシスタントの配置

小学校に入学したばかりの新１年生がスムーズに学校生活に慣れることができるように、学級担任の補助者としてエデュケーション・アシスタントを配置しています。登下校の指導、学校での約束事や学習規律の徹底、清掃・給食・安全指導補助など、学級担任と打ち合わせを行いながら必要な指導の補助を行います。

また、４月から５月までの２ヶ月間は、同様の業務を短期で実施する生活指導補助者を追加で配置しています。

（６）科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学５年生、中学２年生から希望を募り、主に土曜日に研究活動を行っています。

運営は小・中学校の校長会が行い、理科専門の教員や外部指導者が実験等の指導をしています。

2024年度に実施した講座の回数は、小学校科学教育センターは全１１回、中学校科学教育センターは、全１１回でした。

なお、2024年度に参加した児童・生徒の人数は、小学生４９名、中学生３５名でした。

2024年度 第65回町田市小学校科学教育センター開催実績（49名参加）

No.	日程	内容	会場
第1回	4月20日	開講式・オリエンテーション	教育センター
第2回	5月11日	A組：自由研究①（60分） ⇒基礎研究①（60分） B組：基礎研究①（60分） ⇒自由研究①（60分） 科学講座 講師 中村 雄一 先生	教育センター

No.	日程	内容	会場
第3回	6月22日	川の生き物観察 フィールドワーク（午前） ⇒ 採集生物観察（午後） 講師 篠田 康昌 先生	ネイチャーファクトリー東京町田
第4回	7月27日	A組：基礎研究②（60分） ⇒自由研究③（60分） B組：自由研究③（60分） ⇒基礎研究②（60分） オリンパス「光の不思議」	教育センター
第5回	8月3日	グループ相談会 Meet 相談・来所相談	教育センター
第6回	8月24日	A組：自由研究③（60分） ⇒基礎研究③（60分） B組：基礎研究③（60分） ⇒自由研究②（60分） A組・B組 基礎研究④（120分） 東京高専 「液体窒素の実験」	教育センター
第7回	9月21日	A組：基礎研究④（120分） B組：基礎研究④（120分） サレジオ高専「STEAM 教育実験」	サレジオ工業高等専門学校
第8回	10月19日	A組：基礎研究⑤（60分） ⇒自由研究④（60分） B組：自由研究④（60分） ⇒基礎研究⑤（60分） 協和発酵キリン「微生物の観察実験」	教育センター
第9回	11月9日	自由研究⑤（120分）	教育センター
第10回	11月30日	自由研究発表会	教育センター
第11回	3月1日	閉講式	教育センター



フィールドワークの様子

2024 年度 第 62 回町田市中学校科学教育センター開催実績（35 名参加）

No.	日程	内容	会場
第 1・2 回	7 月 20 日	開講式 大気の動き 熱気球を作ってみよう	山崎中学校
第 3 回	8 月 6 日	体を守るシステム免疫について ：協和キリン株式会社	教育センター
第 4 回	8 月 21 日	プラネタリウム 星空観察 ：玉川大学	玉川大学
第 5 回	8 月 24 日	恩田川の水質調査	南大谷中学校
第 6 回	9 月 28 日	光の性質 万華鏡づくり	つくし野中学校
第 7 回	10 月 5 日	ツメガエルの解剖実験	南中学校
第 8 回	10 月 19 日	超低温の世界～液体窒素～	南成瀬中学校
第 9 回	11 月 2 日	水素エネルギーと燃料電池 ：水素エネルギー協会 横浜国立大学	教育センター
第 10 回	11 月 23 日	「動く」を科学する	鶴川中学校
第 11 回	12 月 14 日	閉講式	教育センター

（7）児童・生徒の文化活動

児童・生徒は学習活動や部活動等の時間における文化活動を通して、日々自己を磨き、高める活動を行っています。そして、その成果を遺憾なく発揮し、活躍しています。

① 連合行事の開催

児童・生徒が日頃の活動成果を発表する場として次のような連合行事を開催しました。

連合行事（2024 年度の実施内容）

行 事 名		実施日	場 所
小学校	音楽会	11 月 13～15 日	町田市民ホール
中学校	音楽会（吹奏楽）	7 月 23 日	町田市民ホール
	音楽会（合唱）	11 月 7 日	町田市民ホール
	演劇発表会	11 月 3～4 日	和光大学ポプリホール鶴川

② 町田市公立小・中学校作品展

毎年 1 月～2 月に国際版画美術館で、日頃の学習活動の成果を発表しています。小学校については書写と図画工作、中学校については美術作品を展示しています。

(8) ICT教育

「ICT」とは、略称で、情報通信技術を意味します。

町田市では、町田市5ヵ年計画22-26の中で、『ICT教育の充実』を重点事業に掲げています。2023年度は、GIGAスクール構想に基づき整備した一人一台のタブレット端末を中心に、デジタル教科書や学習支援コンテンツ等を活用し、ICT教育を推進してきました。

教育におけるICTの活用は、児童・生徒の学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や新学習指導要領で重要視されている「主体的・対話的で深い学び」を実現する上で効果的であり、確かな学力の育成につながるものです。また、ICTを活用することによって、一人一人の児童・生徒の能力や特性に応じた「個別最適化」された学びや、児童・生徒が教え合い学び合う中で考えを広げ深めていく「協働的な学び」を実現します。

2017年度 2018年度	町田市ICT活用教育推進モデル校（小山ヶ丘小学校・堺中学校） ⇒ICT機器の導入・ICTを活用した授業実践
2019年度	町田発未来型教育実証モデル校（町田第五小学校・小山ヶ丘小学校・堺中学校） ⇒「G Suite for Educationを活用した授業モデルの構築」・「AIによる個別最適化された学習支援モデルの構築」に向けた取組を実施 全小・中学校に児童・生徒用のタブレット（Chromebook：Google社が開発したクロームOSを搭載したパソコン）を1校に40台配備 町田市ICT教育フォーラムを開催し、取組を発表
2020年度	・文部科学省の示すGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒一人一台のタブレット端末と高速大容量通信ネットワークを整備 ・教科用デジタル教材（指導者用）の導入【小学校（英語）】 ⇒学習内容を視覚化し、意欲的に学ぶ学習環境づくりにつなげる。
2021年度	・ICT活用研修を年12回実施 ⇒教員のICT活用のスキルアップのため、都や企業の企画する研修についても各学校で積極的に活用 ・教科用デジタル教材（指導者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・教科用デジタル教材（学習者用）の導入 【小学校（算数）、中学校（数学または英語）】 ・小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツの導入 ⇒学習の履歴として蓄積された記録を分析することにより、児童・生徒は自己のつまづきを把握しながら学習することができる。教員は児童・生徒の状況を把握して個に応じた指導を工夫することができ、個別最適化された学びの実現につながる。 (次ページへ続く)

2021 年度 (続き)	・ ICT 授業支援員による教員への支援を実施 ⇒「Google Workspace for Education」及び「小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツ」の利用促進を図るため、ICT 授業支援員を配備し、教員が効果的に ICT 機器を活用できるよう支援体制を整えた
2022 年度	・ ICT 活用研修を年 10 回実施 ・ 教科用デジタル教材（指導者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・ 教科用デジタル教材（学習者用）の導入 【小学校（算数・理科・英語）、中学校（数学・理科・英語）】 ・ 小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツの導入 ・ ICT 授業支援員による教員への支援を実施 ・ 2017 年度に整備したタブレット端末を新機種に更改
2023 年度	・ ICT 活用研修を年 10 回実施 ・ 教科用デジタル教材（指導者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・ 教科用デジタル教材（学習者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・ 小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツの更改 ・ ICT 授業支援員による教員への支援を実施 ・ ポータルサイト「MNE ポータル」の整備、拡充
2024 年度	・ ICT 活用研修を年 10 回実施 ・ 教科用デジタル教科書（指導者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・ 教科用デジタル教科書（学習者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・ 情報活用能力育成を図る「Google for Education 活用表」の提供 ・ ICT 授業支援員による教員への支援を実施 ・ ポータルサイト「MNE ポータル」の整備、拡充

4. 研修・研究

学校の教育力の向上を図るため、次のとおり、教員を対象とした研修の実施や、教員・学校の研究活動の支援を行っています。

(1) 研修

国は、法令において、教員に対しては、絶えず自己研さんに励む責務を、行政に対しては、教員の研修の機会を付与する責務を課しています。町田市では、基本的な指導力及び専門的な指導力の向上を図るため、各種の研修を行っています。

また、毎年各学校から希望を募って、国や都の研修事業に研修生の派遣を行っています。

2024 年度 教育委員会実施研修一覧

No.	研修名	回数	研修の目的
1	校長研修	1	学校教育における諸課題を多角的に認識するとともに、その解決に必要な教職員の意識改革と管理職のリーダーシップの在り方や新しい学校づくりを目指した学校経営の在り方を探る。
2	副校長研修	1	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
3	教務主任研修	4	主幹及び教務主任としての資質・能力の向上と教育課題への対応能力をはぐくむ。
4	生活指導主任研修	6	主幹及び生活指導主任としての資質・能力の向上と校内における調整能力をはぐくむ。
5	研究主任研修	3	研究主任や研究担当としての資質・能力の向上を図り、校内研究の推進能力を身に付ける。
6	新任主幹教諭研修	1	主幹教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
7	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	12	中堅教員としての資質・能力の向上を図る。
8	若手教員育成研修【3年次】	2	2年次における研修内容を定着させるとともに、外部との連携・折衝力、学校経営力・組織貢献力について、講義や演習を通して学ぶ。
9	若手教員育成研修【2年次】	3	1年次における研修内容を定着させるとともに、学習指導力、生活指導力・進路指導力を中心に、講義や演習を通して学ぶ。
10	若手教員育成研修【1年次】	16	新任教諭に対し、幅広い知見をもたせて児童・生徒及び保護者の期待に応えることができるようにするとともに、実践的指導力を培い、教員として資質・能力の向上を図る。
11	人権教育研修	1	各校での人権教育推進に向け、人権に関する諸課題について研修を深める。
12	学校図書館担当者（司書教諭・図書指導員）研修	3	司書教諭及び図書指導員の職務についての理解を深め、学校図書館の充実に資する。

13	特別支援教育に関する研修	38	特別支援教育を推進するため、コーディネーター、学級主任、学級担任の資質・能力の向上を図る。
14	熱中症予防対応研修	1	熱中症予防についての知識と具体的な対応策を理解する。
15	安全な水泳指導のための講習会	1	水泳指導の基本的な考え方や進め方について周知するとともに、小・中学校における安全管理、教職員及びプール指導員等の指導力向上及び事故防止の徹底を図る。 ※水泳指導責任者が各校において伝達講習会を行い、報告書を提出する。
16	体力向上担当者研修	2	実技研修や公開授業参観を通して、体力向上に関する理解を深め、実践力を養う。
17	学校リーダー育成プログラム 「学校マネジメント講座」	4	学校運営の中核を担う教員、または今後、学校経営を担うことができる教員に学校経営に参画する意欲を喚起するとともに、学校マネジメント能力の向上を図り、教育管理職候補者のキャリア形成を図る。
18	教育行政研修に係る実地研修	6	指導主事の職務を実際に体験することにより、その重要性を理解し、指導主事の職務を担うための基礎的な資質・能力を育成する。
19	特別支援教育コーディネーター研修	5	講義や演習、実践報告等を通して、特別支援教育の概要及び本市の現状などを踏まえた上で、コーディネーターの役割や各学校での校内支援体制の在り方等について学ぶ。
20	ゲートキーパー研修	1	悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、支援することができる意識の高揚を図る。
21	外国語・公開授業参観研修	4	同校種及び異校種の外国語の授業を参観し、協議することで、それぞれの指導方法について学び、指導力向上を目指す。
22	hyper-QU 活用研修	4	hyper-QU の診断結果を活用し、児童・生徒一人一人の状態や学級全体の課題を把握し、対応を検討する方法について学び、いじめ等の未然防止や不登校の予防に資する。
23	ICT 活用研修	10	教員の ICT 活用能力の向上を図る。

2024 年度 研修生派遣先一覧

No.	研修名	派遣人数
1	東京教師道場（1・2 年次）	20
2	東京都教育研究員	1
3	教職大学院派遣研修	1

（２）研究

小・中学校では、教員の資質向上及び各学校の課題解決のため、自主的に研究主題を設定して校内研究を進めています。

教育委員会では、学校からの希望により文部科学省や東京都の研究指定事業に推薦し、研究指定を受けることもあります。

その他の研究活動として、小・中学校の教員が各教科・領域の研究を行う教育研究会があります。

2024・2025 年度 研究校一覧（文部科学省指定校・東京都指定校）

※町田市研究指定校については「3. 町田市の特色ある取組」をご覧ください

※2024 年度については、文部科学省研究指定校はありません。

人権尊重教育推進校	
2024 年度	2025 年度
鶴川第三小学校(2年次) 忠生中学校(1年次)	忠生中学校(2年次) 忠生小学校(1年次)
東京都人権施策推進指針及び都教育委員会の教育目標、基本方針に基づき、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、人権教育を一層充実させるために指定を受けた学校。	

小学校教科担任制等推進校
2024 年度～2025 年度
南第四小学校・鶴間小学校
児童の意識及び教員の取組状況を把握し、東京都における小学校教科担任制等の推進・充実に資する学校。

5. 特別支援教育

障がいがあり、特別な支援を必要とする児童・生徒について、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行っています。

児童・生徒は、特別支援学級に籍を置いて、その障がいや発達に応じた指導を受けながら、一部の教科や給食などは通常の学級で交流学习をする、また、通常の学級で学びながら、ある一定の時間は巡回制の学級で教師の訪問指導を受けるなど、様々な形での指導を受けています。

障がいのある児童・生徒は、障がいのない児童・生徒と共に学ぶことで、学習への意欲や社会性などはぐくみます。障がいのない児童・生徒もまた、同じ社会の一員として認め合い、育ち合うことの意味について理解し、思いやりの心を身に付けていきます。

（１）就学・進学相談

障がいのある児童・生徒が、その程度や発達に応じた教育が受けられるように、就学・進学相談を行っています。

小学校や中学校への入学にあたっては、児童・生徒の観察や診察、保護者との面接の結果等から、どのような教育が望ましいか、「町田市障がい児就学相談委員会」が所見を出し、保護者の方と就学・進学先について考えていきます。「町田市障がい児就学相談委員会」は、専門的、総合的立場から判断する機関として設置されており、学校、教育関係、福祉・保育関係、医療関係等の専門家により構成されています。

また、入学後、その障がいや発達の状況に変化が生じたときや、現在の学級に適応が困難となったときにも、保護者から随時相談を受け付けています。

就学・進学相談 利用者数（人）

区分 \ 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
就学相談	285	319	347	327	380
進学相談	244	319	250	264	245

（２）特別支援学級

障がいがあることにより、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育の場として、一部の小・中学校に特別支援学級を設けています。特別支援学級では、児童・生徒の障がいや習熟度に応じた学習活動を行います。

小・中学校の特別支援学級は、1959 年に町田第二小学校、1961 年に町田第一中学校に知的障がい学級を開設したのは始まり、2025 年 5 月 1 日現在では、全小・中学校に特別支援学級（知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由、弱視、難聴、言語障がい、特別支援教室の 7 種別の学級）を設置しています。

これらの特別支援学級には、障がいの種別により、固定制、巡回制の 2 つの指導形態があります。

固定制は、通常の学級での学習では十分にその効果を上げることが困難な児童・生徒のために、障がいや発達の状況にふさわしい指導計画を作成し、指導を行う形態です。

巡回制は、教員が一部特別な指導を必要とする児童・生徒の在籍校を巡回して指導する形態です。
知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由の固定制学級では、校内の通常の学級との授業や学校行事での交流、他校の特別支援学級や特別支援学校との連合行事も盛んに行われています。

○ 知的障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れがある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童・生徒の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、基礎的な能力を身に付ける学習や身辺自立の練習など、きめ細かい指導をしています。

また、卒業後のことも考えて、社会適応のための学習や自立活動も行っています。

○ 自閉症・情緒障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れを伴わない自閉症・情緒障がいがある児童を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、言語の理解と使用や、場面に応じた適切な行動などができるように、きめ細かい指導をしています。

○ 肢体不自由学級〈固定制〉

脳性マヒや進行性筋萎縮症などにより身体に不自由がある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では教科学習のほか、理学療法士、作業療法士による自立活動も行っています。

○ 弱視学級〈巡回制〉

治療をしても、メガネをかけても十分な視力を得ることができない児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、弱視学級の先生の指導を受けて、拡大鏡やレンズを使用した物の見方など、視覚をとおして物事を理解するための視知覚向上練習や、運動能力及び表現力を向上させるための練習などを行っています。

○ 難聴学級〈巡回制〉

補聴器を使用しても話し声を聞きとることが困難な児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、難聴学級の先生から、補聴器を使用時の聴能練習、発音の指導やグループ指導を受けています。

○ 言語障がい学級〈巡回制〉

口蓋裂（こうがいれつ）、吃音（きつおん）などにより、発音や話し方に課題のある児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、言語障がい学級の先生から、ことばや発音の指導等を受けています。

○ 特別支援教室（サポートルーム）〈巡回制〉

情緒の不安定や社会性の未発達のため、対人関係や集団への適応に困難を示す、文字や計算など特定の分野に発達の偏りがあるなどの児童・生徒を対象とした教室です。児童・生徒はコミュニケーション能力を伸ばす、社会性を養うなどの指導を個別又はグループで受けています。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1回、特別支援教室の先生から指導を受けています。

2025 年度 特別支援学級

《小学校》

(2025 年 5 月 1 日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい学級《固定制》	62	438	町田第一小学校 南大谷小学校 南第四小学校 鶴川第二小学校 忠生小学校 七国山小学校 小山中央小学校	町田第二小学校 藤の台小学校 南つくし野小学校 鶴川第四小学校 小山田南小学校 小山小学校 相原小学校	町田第五小学校 本町田ひなた小学校 成瀬小学校 金井小学校 木曽境川小学校 小山ヶ丘小学校
自閉症・情緒障がい学級 《固定制》	22	155	町田第一小学校 鶴川第四小学校	本町田ひなた小学校 忠生小学校	南第四小学校 小山中央小学校
肢体不自由学級《固定制》	2	13	町田第六小学校		
弱視学級《巡回制》	1	2	南第三小学校		
難聴学級《巡回制》	2	8	南第三小学校	山崎小学校	
言語障がい学級《巡回制》	6	109	町田第四小学校	成瀬中央小学校	
特別支援教室《巡回制》		1169	全校		

《中学校》

(2025 年 5 月 1 日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい学級《固定制》	36	250	町田第一中学校 つくし野中学校 薬師中学校 小山中学校	南大谷中学校 成瀬台中学校 忠生中学校 堺中学校	南中学校 鶴川中学校 山崎中学校
自閉症・情緒障がい学級《固定制》	4	25	町田第三中学校		
肢体不自由学級《固定制》	1	3	町田第一中学校		
難聴学級《巡回制》	1	9	町田第二中学校		
特別支援教室《巡回制》		351	全校		

（３）人的支援制度

特別支援学級に在籍する児童・生徒だけでなく、通常の学級に在籍する LD（学習障がい）、ADHD（注意欠如・多動性障がい）、高機能自閉症等の児童・生徒も含め、特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活、また学校の教育活動をサポートするため、次の人的支援を行っています。

○ 特別支援教育支援員

学校に配置し、教員の補助者として、特別な支援が必要な児童・生徒の介助や安全への配慮を行い、児童・生徒の学校生活、学校の教育活動を支援しています。

○ 特別支援教育専門家チーム

学校からの求めに応じ、大学教授などの特別支援に関する専門員（10 名）が、学校に出向き、事例相談や校内研修での特別支援教育に関する講義などを行っています。

事例相談では学校に対し、特定の特別な支援を必要とする児童・生徒について、発達障がいの状況や課題に関して見解を示し、必要な支援・配慮等を踏まえた学習指導や生活指導の具体策、保護者への支援にかかる方策、学校の組織的取組に関する改善策などについて指導・助言を行っています。

○ 特別支援教育巡回相談員

通常の学級における特別な支援を要する児童・生徒に関する各校の実態を把握し、児童・生徒への指導や、管理職、特別支援教育コーディネーター、担任等への助言を行います。

また、特別な支援を要する児童・生徒への指導について、専門家チーム、関係諸機関への連絡・相談を円滑に行えるようにします。

○ 特別支援教育専任相談員

特別な支援が必要な児童・生徒への指導方法や対応についての助言を行います。また、特別支援学級、特別支援教室の指導内容や方法について教員研修会や学校訪問等を通して必要な助言を行います。



（４）連合行事

特別支援学級の児童・生徒は普段、少人数で指導を受けていますが、より大きな集団の中で交流することも必要です。そこで、いくつかの学級が連合して、宿泊学習、遠足、合同学習会等を実施しています。2024年度は、町田市中学校連合マラソン大会、スポーツ交流会を実施しました。

また、町田第一中学校、南中学校、つくし野中学校、成瀬台中学校が実施している連合行事、中学校4校連合学習発表会を実施いたしました。

2024年度 実績

行事名	実施日	場 所	備 考
町田市中学校 連合マラソン大会	11月1日	町田 GION スタジアム (町田市立陸上競技場)	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が、障がいの程度に応じて参加しています。
スポーツ交流会	1月31日	町田市立総合体育館	中学校の特別支援学級の生徒が一堂に会し、スポーツで交流しています。

※町田の丘学園交流会は、町田の丘学園の校舎移転に伴う準備作業のために、実施を見合わせました。

（５）副籍制度

都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）をもち、交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度です。

副籍制度によって、地域指定校の学校行事や授業等への参加などの直接的な交流や、学校便りや学級便りの交換などの間接的な交流が行われています。交流の内容は、保護者の希望をもとに、都立特別支援学校と地域指定校との間で相談して決定します。

（６）特別支援教育推進モデル校

特別支援教育推進モデル校は町田市の特別支援教育を推進することを目的に2年間研究に取り組みます。町田市の特別支援教育の質的向上に寄与していきます。

2024年度	2025年度
南成瀬中学校（2年目）	町田第一中学校（2年目）
町田第一中学校（1年目）	成瀬台小学校（1年目）

6. 教育相談等

すべての児童・生徒が家庭、学校、地域でいきいきと活動し、人間性豊かに成長するよう、不登校などの教育上の課題について、児童・生徒、保護者、学校等に対し、様々な支援・相談を行っています。

（１）教育相談

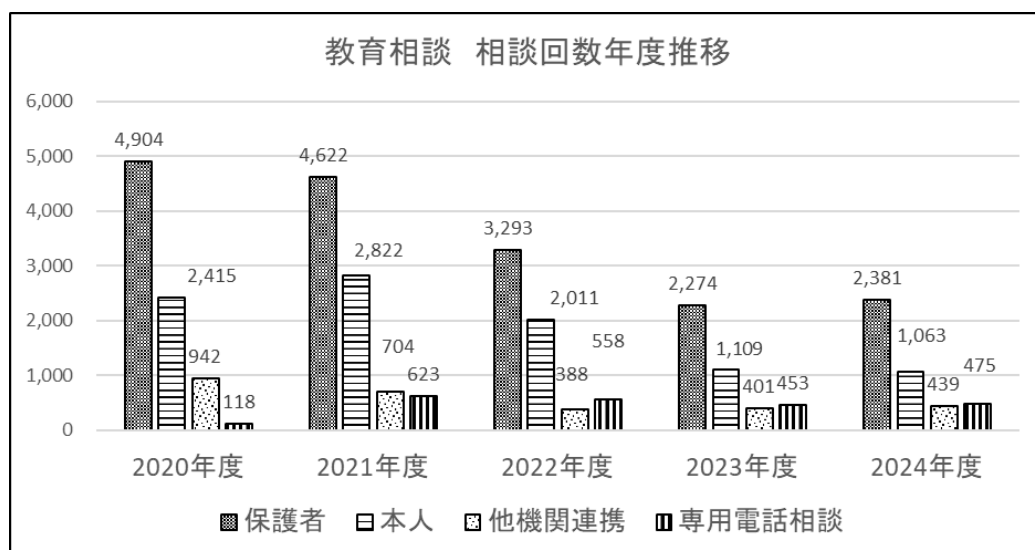
児童・生徒の様々な教育上の課題について、心理専門の相談員が児童・生徒、保護者、学校関係者の相談に応じています。主な相談内容は、不登校、集団不適応、友人関係、発達の課題、学習に関すること、生活面に関することなどですが、その他子どもの教育に関する相談に応じています。

また、2013年度から小・中学校全校に配置されたスクールカウンセラーが、家族や友人関係、学習や進学等の様々な悩みに関して、児童・生徒の相談に応じたり、児童・生徒の教育上の問題について保護者の相談に応じたりしています。

その他、学校だけでは支援が難しい課題を抱える児童・生徒に対して、スクールソーシャルワーカーが、社会福祉の専門的知識・技術を活用し、児童相談所、福祉事務所等の様々な関係機関と連携して、問題の解決に向けた支援を行っています。

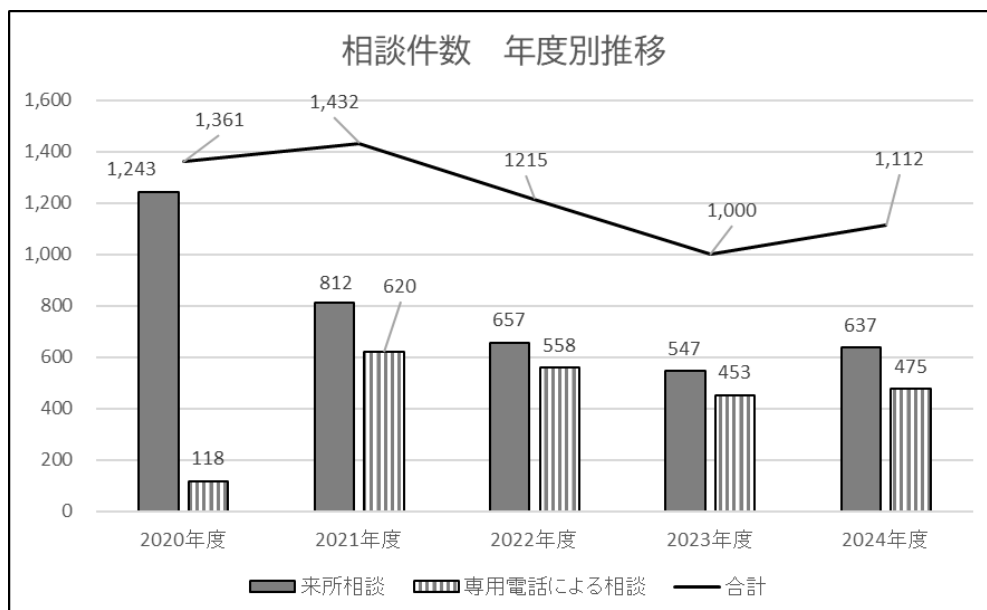
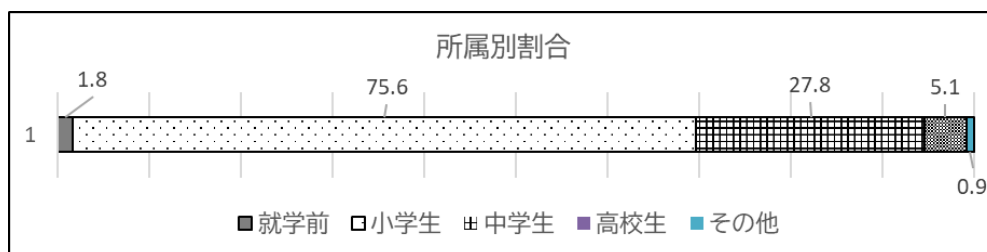
心理専門の相談員による教育相談

区 分	相談日時	場所	担当	電話番号
来所相談	月～金曜日及び第1・第3土曜日 午前9時～正午 午後1時～午後5時 ※祝日・年末年始除く ※予約制	教育センター	教育 相談員 (心理)	042-792-6546 (予約受付は 午前8時30分 から対応)
電話による 教育相談	月・水・金曜日 午前9時～正午 午後1時～午後4時 ※祝日・年末年始除く	教育センター	教育 相談員 (心理)	042-792-6548



2024 年度 相談件数

相談内容	来所相談					電話 相談	合計 (件)
	就学前	小学生	中学生	高校生	その他		
不登校	0	131	122	22	0	165	440
友人関係	0	0	0	0	0	8	8
いじめ問題	1	3	0	0	0	6	10
発達障がい等	9	272	42	3	0	218	544
非行・不良行為	0	4	3	0	0	8	15
暴力行為	0	1	0	0	0	4	5
心身の健康・保健	0	5	2	2	0	15	24
家庭環境	0	0	0	0	0	1	1
児童虐待	0	0	1	0	0	2	3
学業・進路	0	7	6	1	0	20	34
教職員との関係	0	0	0	0	0	16	16
学校環境	0	0	0	0	0	1	1
学校・家庭以外の問題	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	10	10
合計	10	423	176	28	0	475	1112



（２）不登校児童・生徒支援

小・中学校に在籍する児童・生徒の中には、心理的な要因などにより不登校又は不登校の傾向にある児童・生徒がいます。教育委員会では、学校をお休みしている児童・生徒の学びの場として、教育センター内に教育支援センターを設置し、小学生用のけやき教室、中学生用のくすのき教室を運営しています。

なお、くすのき教室では2021年度から、けやき教室では2022年度から、多様性のある指導を行うため指導の一部を委託化しました。2024年度からは、学習指導については全面的に委託化しています。

開設日は月曜日から金曜日で、実施教科は小学校・中学校の教科に準拠しています。教室では、社会性・協調性を育むための体験的活動や学習内容の補充、生活リズムの調整などを行っています。くすのき教室においては、進路相談や入試対策なども行います。

また、教育相談担当所属の心理職を配置することで、安定して通室できるよう支援しています。

教育支援センター登録者数

	小学生（人）	中学生（人）
2020 年度	13	17
2021 年度	23	72
2022 年度	31	138
2023 年度	40	139
2024 年度	42	115

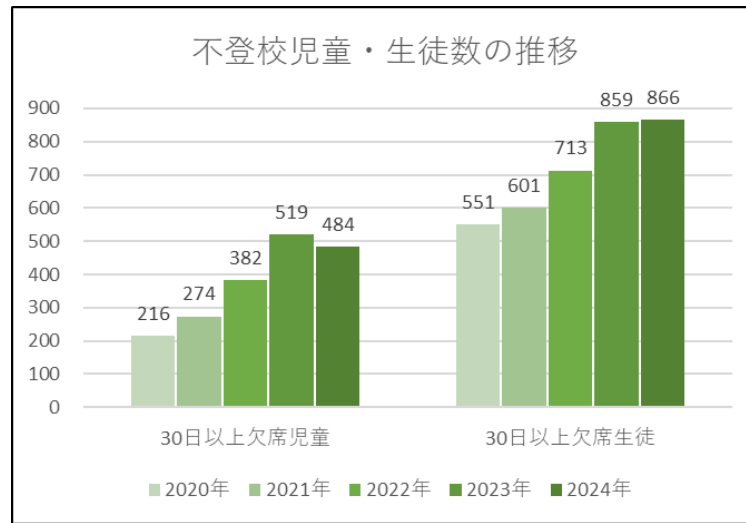


教育支援センター教室写真



不登校児童・生徒数の推移（過去 5 年間）

※町田市調査による。



7. 家庭・地域と連携した学校づくり

家庭・地域・学校が連携・協働し、地域の資源などを生かした教育活動を推進するために、様々な取組を行っています。

（１）コミュニティ・スクール / 学校運営協議会・地域学校協働本部

町田市立小・中学校では、地域とともに、子どもたちの豊かな教育活動を目指して、2021年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）へ移行し、2023年度からは地域学校協働本部を全校に設置しました。

学校運営協議会は学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行うため、市立小中学校に設置する合議体のことをいい、校長が作成した学校経営方針・学校経営計画等の基本方針を承認する等の権限を持ちます。学校運営協議会の委員は、地域住民や保護者、学校で活動するボランティアをコーディネートするボランティアコーディネーター（後述）、まちとも関係者等を中心に構成されています。

地域学校協働本部は、副校長や地域連携担当教員、ボランティアコーディネーターが中心となり、学校運営協議会で承認された計画に基づいて地域学校協働活動を実施していくネットワークのことをいい、町田市コミュニティ・スクールでは学校運営協議会と地域学校協働本部が大きな柱となっています。

（２）学校支援ボランティア

① 学校支援センター

家庭・地域・学校が協力して子どもを育てていく“しくみ”をつくるため、町田市学校支援センターを設置し、地域連携に取り組んでいます。

学校支援センターでは、学校支援ボランティア活動の総合窓口として、地域ボランティアの学校支援活動を推進するとともに、各校に配置されているボランティアコーディネーターの活動支援及び活動の活性化を図るための研修・ミーティングを実施しています。

また、学校支援センターが事務局となり、各校のボランティアコーディネーター、市内連携団体の代表、学校長の代表が情報交換をする場として「学校支援連絡会」を開催しています。

② ボランティアコーディネーター

学校と地域ボランティアとのかけ橋となるボランティアコーディネーターは、学校のニーズに応じ、必要な学校支援ボランティア人材の手配及び調整、市内連携団体をはじめとした外部団体との連絡調整などを行います。

③ 地区統括ボランティアコーディネーター

地域で子どもの成長を支えるため、学校を核として地域人材を活用し、地域の教育力の強化を目指しています。そのために、市内の小・中学校を 10 地区に分け、各地区のボランティアコーディネーター等との連絡・相談や地区内の情報共有を目的とした地区ミーティングの開催などを担う地区統括ボランティアコーディネーターを配置しております。

地区統括ボランティアコーディネーターの配置により、人材情報や活動内容の情報共有を進め、地区内の学校の連携強化と地域学校協働活動の推進を図ります。

④ 学校支援ボランティア

学校支援ボランティアとは、学校の教育活動に地域の教育力を活かすため、ボランティアとして学校をサポートする保護者、地域の方々、学生、団体及び企業などのことです。このボランティアの力を教育活動に積極的に生かして「地域とともに子どもを育てる」取組を実施しています。

学校支援ボランティアは、国語、算数・数学などの教科や、道徳、総合的な学習、特別活動等での学習活動、さらに、食育、環境学習、キャリア教育、放課後学習をはじめ、委員会・クラブ・部活動指導、農業体験等の体験活動、学校花壇の整備、登下校安全指導といった、学校ニーズに対応した幅広い分野で学校の教育に携わっています。

8. 教育のための支援

保護者の経済的負担を軽減し、教育の振興を図るため、各種の支援を行っています。

(1) 就学援助

就学援助制度は、経済的理由により就学困難な家庭の子どもたちも等しく教育が受けられるよう援助を行うものです。対象は、小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者で、生活保護受給世帯（要保護者）及びこれに準ずる程度に生活に困っている世帯（準要保護者）です。

2024 年度 支給費目別支給額実績

支給費目	対 象					備 考
	要※	準※	学年	人数（人）	支給額（千円）	
学用品 通学用品費	×	○	小全学年	2,169	27,888	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中全学年	1,296	30,199	
入学準備金	×	○	小1年	275	4,825	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費（2024年度は支給単価改定による差額相当額の支給を実施）
			中1年	48	3,024	
入学準備金 入学前支給	×	○	就学予定者	322	18,373	
			小6年	392	24,696	
修学旅行費	○	○	小6年	403	14,481	児童・生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
			中3年	422	25,281	
校外活動費	○	○	小全学年	1,937	7,335	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
			中全学年	1,171	3,425	
移動教室費	○	○	小5年	373	7,396	小学5年生、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
			中1・2年	393	20,108	
通学費	○	○	小全学年	47	777	通学距離が概ね小学校 1.5 km、中学校 2 km 以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の実費（定期代を上限）を補助します。（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。※2025 年度から支給対象費用を通学定期券の購入額に変更しました
			中全学年	34	1,814	
給食費	×	○	小全学年	2,143	90,348	児童・生徒の給食費（無償化の費用は保健給食課に直接支払い）
			中全学年	597	16,443	
医療費	○	○	小全学年	13	41	児童・生徒が結膜炎、中耳炎、う歯など学校保健安全法施行令第8条に規定する疾病の治療に要する経費
			中全学年	1	22	
体育実技 用具費	×	○	中全学年	339	438	中学校の体育の授業で使用する柔道着、または剣道用具の購入費
卒業 アルバム費	○	○	小6年	435	4,724	児童・生徒の卒業アルバム購入費（上限金額あり）
			中3年	448	3,227	

オンライン 学習通信費	×	○	小全学年	1,673	22,144	児童・生徒の家庭におけるオンライン 学習通信費（1世帯あたり）
			中全学年	701	9,407	

※要・・・要保護者

準・・・準要保護

要保護・準要保護児童・生徒の推移と援助総額（過去5年間）

年度	5月1日現在在籍 児童・生徒数（人）		認定者数（人）※		受給率	援助総額（千円）
			要保護	準要保護		
2020	小学校	21,573	315	2,401	12.6%	185,645
	中学校	10,340	182	1,476	16.0%	60,582
2021	小学校	21,244	288	2,385	12.6%	232,810
	中学校	10,268	203	1,450	16.1%	120,978
2022	小学校	20,958	278	2,340	12.5%	234,980
	中学校	10,252	172	1,447	15.8%	121,519
2023	小学校	20,484	244	2,252	12.2%	222,182
	中学校	10,129	161	1,308	14.5%	110,937
2024	小学校	20,220	242	2,079	11.4%	223,028
	中学校	9,973	151	1,239	13.9%	113,388

※町田市立小・中学校の認定者数です。

（２）通学費補助制度

通学距離が概ね小学校 1.5 km、中学校 2 km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の一部を補助します（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。

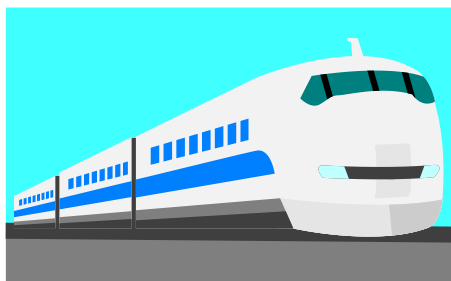
なお、1か月の定期代の1/2だった補助率を、2013年度から2/3に引き上げました。



（３）校外学習への補助事業

校外学習で使用するバス借上料や修学旅行の交通費を補助しています。

区分	対象	補助内容
集団宿泊行事	小学６年生	日光林間学校のバス借上料を補助しています。
修学旅行	中学３年生	修学旅行の交通費を補助しています。
移動英語教室	中学２年生	移動英語教室のバス借上料を補助しています。



(4) 特別支援学級の就学奨励

小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図るため援助を行っています。保護者の経済状況により、支給費目が異なります。

2024 年度 支給費目別支給額実績

支給費目	小学校		中学校		備 考
	人数 (人)	支給額 (千円)	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	284	3,691	123	2,860	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
入学準備金 (小1年、中1年)	23	1,175	31	1,890	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
修学旅行費 (小6年、中3年)	46	1,617	44	2,538	児童・生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	255	1,464	114	388	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
移動教室費 (小5年、中1・2年)	49	959	27	1,396	小学5年生、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
通学費	92	1,181	52	2,084	通学にかかる費用の実費(ただし上限あり)の補助(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く) ※2025 年度から上限に関する規定を廃止し、対象者を市内在住かつ市立小・中学校特別支援学級在籍者に変更しました
給食費	276	11,673	131	2,641	児童・生徒の給食費(無償化の費用は保健給食課に直接支払い)
職場実習交通費 (中学校)	—	—	4	3	生徒が教育課程に従い学校長の管理のもとに、学校外の事業所等において職業教育のための実習に参加する場合の交通費
交流学习交通費	65	10	177	325	特別支援学校または他の小・中学校特別支援学級の児童・生徒と集団活動を行う場合の交通費
宿泊訓練費	380	4,187	188	5,207	特別支援学級の行事として行われる宿泊訓練に直接必要な交通費、宿泊費、見学科等
保護者付添通学費	20	833	2	120	児童・生徒の通学に保護者が付添い、バス・電車の交通機関を利用する場合の交通費(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く)
脳波検査料	1	5	—	—	医療機関において脳波検査を受けた場合の、保険診療の自己負担額
卒業アルバム費 (小6年、中3年)	54	591	46	329	児童・生徒の卒業アルバム購入費(上限金額あり)
オンライン学習 通信費	267	3,567	116	1,543	児童・生徒の家庭におけるオンライン学習通信費(1世帯あたり)
体育実技 用具費	—	—	7	1	中学校の体育の授業で使用する柔道着、または剣道用具の購入費

9. 学校給食

町田市の小学校給食は、1947 年 12 月に町田小学校（現町田第一小学校）で週 1 回のみそ汁給食から始まりました。1955 年から徐々に完全給食に移行し、1963 年に鶴川地区に最初の共同調理所（1979 年廃止）が設置されて、全小学校で完全給食が実施されるようになりました。また、1980 年代から 1990 年代にかけて、児童数の増加に伴う小学校の新設時には、他校の給食室で調理した給食を配送する親子方式を実施しました。現在、小学校 40 校で自校式の全員給食を実施しており、うち 31 校は民間活力を活用した調理業務委託を行っています。

中学校給食は、給食を希望する生徒に業者が調理した給食を提供する弁当併用外注方式により、2005 年 9 月から一部の学校で開始し、2009 年 5 月から全校で実施しています。武蔵岡中学校については、2012 年度から大戸小学校との小中一貫校（小中一貫ゆくのき学園）となったことに伴い、自校方式による給食を実施しています。また、市内中学校を 4 つのエリアに分け、2024 年 9 月（2 学期）から順次、食缶形式による全員給食を開始しています。現在堺エリア、鶴川エリア及び町田忠生小山エリアで全員給食を開始しており、南エリア中学校給食センターの整備を進めています。

（１）指導目標

現在の学校給食は、学習指導要領で、特別活動の中の学級活動に位置付けられています。給食指導では、食事の正しいあり方を体得させるとともに、食事を通して好ましい人間関係を育て、児童・生徒の心身を健全に発達させることなどを目標としています。

（２）栄養管理

学校給食では、文部科学省が定める**学校給食摂取基準**^{*}を満たすよう栄養管理を行っています。献立は、小学校は各学校の栄養士が、中学校は給食センターの栄養士が作成しています。

※学校給食摂取基準

厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準」を参考とし、その考え方を踏まえるとともに、文部科学省が 2007 年度に行った「児童生徒の食生活等の実態調査」や独立行政法人日本スポーツ振興センターが行った「平成 19 年度児童生徒の食事状況調査」等の結果を勘案して、文部科学省が児童・生徒の健康の増進及び食育の推進を図るために望ましい栄養量を算出したものです。

児童又は生徒 1 人 1 回当たりの学校給食摂取基準（令和 3 年 2 月 12 日文部科学省告示第 10 号による）

区分	基準値			
	児童(6歳～7歳)の場合	児童(8歳～9歳)の場合	児童(10歳～11歳)の場合	生徒(12歳～14歳)の場合
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30%			
ナトリウム(食塩相当量) (g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム (mg)	290	350	360	450
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μgRAE)	160	200	240	300
ビタミンB ₁ (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB ₂ (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

（３）地場農産物の活用・食育

小学校給食では、日々の給食に地場農産物を積極的に活用しています。2022 年 12 月には、町田市農業協同組合と連携協定を締結し、時季を問わず地場農産物を活用することを目的として、協同して地場農産物加工品の開発及び給食への提供に取り組んでいます。これまで、町田市内で生産された白菜を加工した「白菜キムチ」、花ゆずを加工した「ゆずはちみつゼリー」、大根を加工した「大根漬け」を開発し、給食で提供しています。

また、2023 年 1 月からカゴメ株式会社と共同して、同社が提供する野菜摂取量を推定できるデジタル機器「ベジチェック®」を活用した食育授業を試行的に実施しました。この食育授業では、「ベジチェック®」で、児童の野菜摂取量を測定し数値を可視化した上で、野菜について楽しく学び、野菜を摂取することの良さを学ぶことができる内容としました。児童の野菜摂取量の上昇や野菜摂取に意欲的になったといった効果があったことから、2023 年度から本格的に実施しています。中学校給食においても、生徒が四季折々の食材を味わうことができるよう生産者への計画的な作付け依頼や各中学校給食センターへの農産物の納品等を町田市農業協同組合に協力していただき、旬の地場農産物を積極的に活用できるよう取り組んでいます。

（４）衛生管理

小学校給食では、安全性の確保に特に注意し、町田市保健所と学校薬剤師の協力を得て、衛生検査や給食従事者等の研修会等を開催しています。食材については、細菌、添加物、農薬等の検査を実施しています。

また、小学校給食では、給食室改修時に施設のドライ化を実施するとともに給食室のドライ運用を進めています。直近では、2020 年度に南成瀬小学校の給食室をドライ施設に改修しました。また、市内 3 カ所の中学校給食センターにおいては、ドライシステムを導入した施設となっております。

中学校給食では、文部科学省が制定する「学校給食衛生管理基準」及び厚生労働省が定める「大量調理施設管理マニュアル」に基づき、管理・指導を行っています。



※ドライ運用とは・・・

給食調理施設の床に水や食品をこぼさずに、乾いた状態で調理や洗浄作業を行うことです。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制できたり、床からの跳ね水による食品への食中毒菌の二次汚染を防いだりすることができます。

（５）食物アレルギー対応

小学校では「小学校給食における食物アレルギー対応の手引き(2023 年 10 月改訂版)」に沿って、食物アレルギーを有する児童に適切な対応をしています。

中学校給食では、「卵、乳、小麦、えび、かに、もも、りんご」の 7 品目の食材を使用しない「食物アレルギー専用食」を提供しています。

（６）給食費

2024 年 4 月から少子化対策の一環として多子世帯の経済的負担を軽減するため、同一世帯で町田市立小・中学校に在籍する児童・生徒のうち、年長の児童・生徒から数えて 2 番目以降の児童・生徒の学校給食費について、国の交付金や都の補助金を活用して無償化しました。

また、2025 年 1 月からは、東京都の財政支援拡充を受け、保護者の経済的負担を軽減するため、第 1 子も含めて完全無償化としました。

学校給食費の額は「町田市立学校の学校給食費等に関する規則（全員給食）」「町田市立中学校の学校給食費等に関する規則（弁当併用外注方式）」で定めています。全員給食の市立小中学校の給食費は、公会計化を導入し、町田市が管理しています。

（７）中学校給食利用促進

生徒の健全な成長に必要な栄養バランスのとれた給食を安定的に提供できる環境を整え、その普及に努めるとともに、食育に役立つ情報を提供しています。

（８）中学校給食センター整備事業

町田市では現在、市内 3 か所に整備予定の内、2 か所の給食センターが開所し、残り 1 か所で建設工事を行っています。中学校給食は開設する給食センター等から配送する学校を 4 つのエリアに分け、2024 年 9 月(2 学期)から順次、食缶形式による「全員給食」を開始しています。2025 年 10 月には、南エリア中学校給食センターが開所し、市内の全中学校において「全員給食」が開始します。献立は、自校式の小学校と同様に市の栄養士が作成し、「美味しく味良く」、「温もり」を感じて「四季を愉しむ」町田市ならではの学校給食を、丁寧につくり、子どもたちに届けていきます。また、食物アレルギーを有する生徒の方にも安心して給食を食べていただけるよう、主たるアレルギー食材を使用しない専用の献立もご用意します。

（９）町田市学校給食問題協議会

町田市学校給食問題協議会は、教育委員会の附属機関です。本協議会は、町田市の学校給食の望ましいあり方を確立するために、学校給食に関する諸問題について教育委員会の諮問を受け、調査・協議し、学校給食事業の適正かつ円滑な運営に寄与しています。

町田市給食問題協議会の答申（過去 5 年間）

答申日・答申名	内容（骨子）
2020 年 2 月 19 日 ・中学校給食について ・小学校給食の衛生管理について －答申－	◆中学校給食をより良いものとし、生徒・保護者が中学校給食を利用しやすい環境についての改善策を提案。 ◆小学校給食の食器洗浄において、従来の洗浄作業では取り除くことが困難なでんぷん汚れを落とすための改善策について提案。
2021 年 1 月 20 日 ・新たな中学校給食の提供方式について －答申－	◆「新たな中学校給食の提供方式」について、成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供できる実現性の高い提供方式として、「全員給食・食缶形式・市所有施設・給食センター方式」にて進めることについて提案。

2023 年 2 月 10 日 ・中学校全員給食実施に伴う各学校の給食運営について ――一次答申――	◆中学校全員給食の実施に当たっては、以下の点に考慮した上で、生徒が安心・安全に給食を喫食できるよう、各学校と教育委員会が連携して中学校給食を運営するよう提案。 ・給食日数は、180 日～185 日程度を基本とし、定期試験期間中は、学校の要望に応じて給食を提供できる体制を整えること。 ・給食時間は、30 分（目安として、準備 10 分、喫食 15 分、片付け 5 分）を基本とし、昼休憩時間 20 分と併せて、生徒の準備・運搬・配膳の力等に応じて柔軟に対応すること。 ・食物アレルギー対応は、安全性を最優先とすること。食物アレルギー対応食の献立を作成し、それによる給食提供を基本とすること。 ・生徒及び教職員の負担軽減のため、給食を給食センターから中学校の各階まで届けるものとし、クラス別に運搬しやすい状態にしておくこと。																								
2023 年 2 月 10 日 ・学校給食における食育の推進について ――二次答申――	◆小中一貫の食育においては、子どもたちが義務教育期間終了の時点で「食を正しく選び取れる力」及び「正しい食行動を実践する力」を身に付けられるよう、より一層の学校給食の充実はもちろんのこと、以下の点に考慮した上で、「生きた教材である学校給食を活用した食育」を実践することを提案。 ・食育推進に当たっては、その体系や実施手順等を定めた「食育プログラム」を策定し、計画的かつ継続的に取り組むこと。 ・栄養教諭及び学校栄養職員が主体となり、学校教職員とともに学校全体で組織的に食育を推進すること。また、家庭、給食に関わる事業者及び食育に取り組む企業・大学など、地域の様々な主体が連携した食育を実施すること。 ・農業体験、調理実習などの体験を多く取り入れ、食育を推進すること。また、食に関する動画や食を学ぶアプリなど、デジタル技術を取り入れた食育に積極的に取り組むこと。 ・子どもたちが個別に抱える健康課題に対して、個人の身体状態、栄養状態及び食生活等の特性にあった栄養指導及びその管理を給食を活用しながら取り組んでいくこと。 ・教育委員会がサポートを行うとともに、学校間で協力し、食育を推進すること。																								
2024 年 2 月 6 日 ・学校給食における食育の推進について ――三次答申――	◆2024 年度以降の給食費額として以下の金額及び留意事項を提案。 【給食費改定額】 <table><tr><td></td><td>現行（2023 年度）</td><td colspan="2">改定後（2024 年度以降）</td></tr><tr><td></td><td>1 食単価</td><td colspan="2">1 食単価</td></tr><tr><td>小学校低学年</td><td>230 円</td><td>245 円</td><td>(+15 円)</td></tr><tr><td>小学校中学年</td><td>245 円</td><td>275 円</td><td>(+30 円)</td></tr><tr><td>小学校高学年</td><td>265 円</td><td>300 円</td><td>(+35 円)</td></tr><tr><td>中学生</td><td>310 円</td><td>330 円</td><td>(+20 円)</td></tr></table> 【留意事項】 ・給食費の増加分へ国や都の補助を活用するなど、保護者負担軽減策を検討すること。 ・子育て支援の観点から、まずは多子世帯の学校給食費無償化を検討すること。併せて、国による学校給食費の無償化について、その動向を注視すること。 ・今後も食材価格の上昇は予想されるため、消費者物価指数を確認するなど、今回の改定額がその年度において適正か否かを毎年度評価すること。		現行（2023 年度）	改定後（2024 年度以降）			1 食単価	1 食単価		小学校低学年	230 円	245 円	(+15 円)	小学校中学年	245 円	275 円	(+30 円)	小学校高学年	265 円	300 円	(+35 円)	中学生	310 円	330 円	(+20 円)
	現行（2023 年度）	改定後（2024 年度以降）																							
	1 食単価	1 食単価																							
小学校低学年	230 円	245 円	(+15 円)																						
小学校中学年	245 円	275 円	(+30 円)																						
小学校高学年	265 円	300 円	(+35 円)																						
中学生	310 円	330 円	(+20 円)																						

	と。また、毎年度実施する給食費額の評価については、概ね３年に一度を目安に、当協議会に報告すること。 ・ 価格変動が比較的少ない調味料や加工食品などの食材を市で一括調達するなど、食材調達の効率化を図ること。併せて、地場農産物は市場価格よりも安価な作物が多くあることから、食材費軽減の観点からも地産地消をより一層推進すること。
--	--

10. 学校保健

学校保健は、健康診断やその他の検査を通して子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに、子どもたち自身に健康診断などの意義や目的を認識してもらい、自らが健康を守るという意識を育てていくことを目的としています。

(1) 定期健康診断

全児童・生徒を対象とした定期健康診断を実施しております。身体測定、内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科の検診に加え、心臓病、腎臓病、結核などの検診を実施し、病気の予防と早期発見に努めています。以下の結果表のデータは各検診実施時点のものです。

① 各種診断・検査

2024 年度 身体計測平均値（市・都・全国平均値比較）

種別	性別	年齢 項目	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
身長 (cm)	男	町田市平均	116.5	122.7	128.4	134.0	139.3	145.9	153.5	160.8	166.1
		都 平 均	117.3	123.0	129.0	134.5	140.6	146.7	154.6	161.9	166.5
		全国平均	116.7	122.6	128.5	134.0	139.7	146.0	154.0	161.1	166.1
	女	町田市平均	115.5	121.7	127.5	133.8	140.4	147.4	152.3	155.5	156.8
		都 平 均	116.1	122.4	128.6	134.6	142.0	148.3	152.9	155.5	157.1
		全国平均	115.8	121.8	127.7	134.1	141.1	147.8	152.3	155.0	156.4
体重 (kg)	男	町田市平均	21.1	24.2	27.4	30.9	34.4	39.0	44.2	49.1	54.2
		都 平 均	21.7	24.3	27.9	31.3	35.6	39.8	45.6	50.9	55.0
		全国平均	21.4	24.2	27.6	31.2	35.2	39.6	45.3	50.5	55.0
	女	町田市平均	20.7	23.6	26.5	30.0	34.3	39.5	43.8	46.9	48.7
		都 平 均	20.9	24.0	27.1	30.6	35.5	40.1	44.3	47.0	49.3
		全国平均	21.0	23.7	26.9	30.5	35.0	40.1	44.4	47.5	49.6

※都平均・全国平均は文部科学省実施「令和6年度学校保健統計調査」の結果より

2024 年度 定期健康診断疾病状況

項 目			男		女	
			小	中	小	中
1 在籍者数			10,435	5,165	9,787	4,808
2 受診者数			10,265	4,903	9,659	4,593
3 栄養状態	(1)栄養不良		6	0	13	0
	(2)肥満傾向		128	7	78	2
4 脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数		146	142	151	187
	(1)脊柱側彎症・脊柱異常		104	114	124	169
	(2)胸郭異常		8	23	7	3
	(3)四肢異常		37	8	20	15
5 視力	裸眼 視力	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計	10,192	4,349	9,539	3,755
		(1)1.0以上	6,755	2,090	5,836	1,631
		(2)1.0未満0.7以上	1,272	548	1,327	484
		(3)0.7未満0.3以上	1,175	774	1,272	716
		(4)0.3未満	990	937	1,104	924
		(1)～(4)のうち眼鏡・コンタクト装用者	944	950	1,100	1,191
	眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者		124	531	156	785
6 眼疾患	受診者		10,180	4,853	9,606	4,517
	疾病・異常者数		434	85	336	66
	(1)感染性眼疾患		0	0	1	1
	(2)アレルギー性眼疾患		154	39	98	23
	(3)その他の眼疾患		294	49	247	43
7 聴力	受診者		6,738	3,353	6,392	3,114
	難聴		46	15	56	6
8 耳鼻咽喉 科疾患	受診者		10,186	4,821	9,603	4,519
	(1)耳疾患		1,061	430	972	271
	(2)鼻・副鼻腔疾患		1,179	687	713	434
	ア アレルギー性鼻疾患		900	642	545	405
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患		311	69	184	32
	(3)口腔咽喉頭疾患		90	17	85	8
9 皮膚疾患	(1)感染性皮膚疾患		6	0	3	0
	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)		146	218	107	201
	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)		43	0	23	5
	(4)その他の皮膚疾患		72	5	49	0
10 結核	受診者		10,339	5,071	9,724	4,741
	(1)結核患者		0	0	0	0
	(2)精密検査対象者		17	2	20	0
11 心臓	受診者(心電図検査)		1,627	1,631	1,515	1,485
	(1)心臓疾患		106	43	99	46
	(2)心電図異常		13	26	11	15
12 検尿	受診者		10,327	4,998	9,710	4,650
	(1)尿蛋白検出		11	62	20	48
	(2)尿糖検出		4	3	7	12
13 その他	(1)気管支喘息		279	121	159	109
	(2)腎臓疾患		19	6	15	18
	(3)言語障害		16	8	14	3
	(4)その他の疾病・異常		103	23	61	26

項 目				男		女	
				小	中	小	中
14 歯科	(1)歯科受診者			10,225	4,910	9,628	4,589
	(2)う歯・要観察歯	乳歯又は永久歯のう歯	ア 処置完了者	1,413	674	1,134	666
			イ 未処置歯のある者	1,259	523	1,095	490
		ウ 永久歯のう歯経験者	エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者	613	1,064	624	1,067
			エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者	443	574	545	517
	(3)歯肉の状態	ア 歯周疾患		110	155	99	83
		イ 歯周疾患要観察者		658	555	676	503
	(4)歯列・咬合の異常			399	261	373	247
	(5)顎関節の異常			17	9	6	10
	(6)歯垢の状態			293	255	241	140
(7)その他の歯・口腔の疾病・異常			317	225	329	262	
(8)永久歯のう歯の内容	ア 未処置歯数(D)		170	246	219	251	
	イ う歯による喪失歯数(M)		2	6	3	4	
	ウ 処置歯数(F)		237	497	238	550	

② 結核検診

小・中学校の児童・生徒全員の中から問診票を使用して精密検査の対象者を選別し、X線撮影による精密検査を実施しています。

2024 年度 結核検診状況 (人)

区 分	対象者	問診調査 実 施 者	精密検査 対象者数	精密検査 受検者数	結果
					異常のあった者
小学校	20, 222	19, 740	49	47	0
中学校	9, 973	9, 818	8	7	0
合 計	30, 195	29, 558	57	54	0



③ 心臓検診

小学1年生と中学1年生全員、及び校医が必要と認めた他学年の児童・生徒に、心電図による検査を行っています。

2024 年度 心臓検診状況 (人(%))

区 分	対象者	一次検診				二次検診	
		受診者数	異常なし	病院管理者数	要二次検診者	受診者数	要病院受診・要精検者数
小学校 (1年生)	3,148	3,139	3,028	53	38 (1.2)	38	0
〃 (その他)	67	66	49	2	9 (13.6)	9	1
小学校 小計	3,215	3,205	3,077	55	47 (1.5)	47	1
中学校 (1年生)	3,164	3,124	3,003	24	51 (1.6)	49	2
〃 (その他)	81	62	41	5	10 (16.1)	10	0
中学校 小計	3,245	3,186	3,044	29	61 (1.9)	59	2
合 計	6,460	6,391	6,121	84	108 (1.7)	106	3

※ 要二次検診者率は一次検診受診者数に対するもの

④ 尿（腎臓）検査

児童・生徒全員に尿検査を実施しています。

2024 年度 尿検査状況 (人(%))

区分	対象者	一次検査		二次検査	
		被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	20,222	20,038	204 (1.02)	174	80 (0.40)
中学校	9,973	9,628	396 (4.11)	314	103 (1.07)
合 計	30,195	29,666	600 (2.02)	488	183 (0.62)

※ 陽性者率は一次被検査者数に対するもの

（２）学校環境衛生の確保

子どもたちが良好な環境の中で学習できるように、「学校環境衛生基準」に基づく各種環境衛生検査を実施しています。

＜定期検査項目の例＞

- ・換気及び保温等の検査（年１～２回）
- ・採光及び照明の検査（年２回）
- ・飲料水水質検査（年１回）
- ・プール水質検査（６～９月のプール実施月に１回）

（３）町田市学校保健会

町田市学校保健会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、養護教諭、栄養士によって構成されています。小・中学校における学校保健の研究及びその普及のため、意見交換・表彰・研究発表・研修会の実施・機関紙の発行等の積極的な活動をしています。

（４）日本スポーツ振興センター災害共済給付

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、学校安全の普及・充実を図るとともに、学校管理下における子どもたちの負傷、疾病などに対して給付を行う災害共済給付制度を設けています。町田市では、児童・生徒全員がこの制度に加入しており、その共済掛金を公費で負担しています。

2024年度 日本スポーツ振興センター加入及び医療費の給付状況

区分	加入状況（人）	医療費の給付状況	
		給付件数（件）	給付額（円）
小学校	20,222	971	5,042,921
中学校	9,973	1,005	8,274,878
合 計	30,195	1,976	13,317,799

2023年度以前に発生した災害に対する給付も含まれています。

（５）感染症への対応

学校における感染症の拡大防止のため、2024年度は延べ133学級の臨時休業措置を行いました。また、保護者・学校への迅速な通知・連絡等を行い、学校内の感染防止に努めました。

1 1. 新たな学校づくり

「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下、推進計画）に基づき、児童・生徒数の減少と学校施設の老朽化という問題に対応しながら、未来の子どもたちにより良い教育環境をつくるとともに、学校を地域の活動拠点として幅広く利用できる場所「子どもも大人も ともに学び、ともに育つ 学び舎」にしていく取り組みです。

（1）適正規模・適正配置

より良い教育環境をつくり、充実した学校教育の実現に向けて、学校ごとの学級数や学校施設機能といった教育環境の違いがもたらす学校教育上、学校経営上の課題を解決するために、適正規模・適正配置を推進します。

① 適正規模

町田市立学校における適正規模の定義を「1 学年あたりの望ましい学級数」とし、小学校で3 学級から4 学級、中学校で4 学級から6 学級を基本的な考え方としています。

② 適正配置

「通学時間」がおおむね 30 分程度、「通学距離」が徒歩でおおむね 2km 程度を目安に通学できることを基本的な考え方としています。



(2) 新たな通学区域及び学校の統合

推進計画では、より良い教育環境を実現するために、市立小学校を 42 校から 26 校、市立中学校を 20 校から 15 校に統合する目標を掲げています。

具体的には、2040 年度までに実現することを目指す「新たな通学区域」「学校候補地」、及び新校舎で教育活動を開始する「新校舎使用開始目標年度」を定めています。

① 新たな通学区域一覧表

	通学区域(中学校)	通学区域(小学校)	通学区域となる町区域
堺地区	1 堺 武蔵岡	1 相原 大戸	相原町
		2 小山ヶ丘	小山ヶ丘4～5丁目の一部、小山ヶ丘6丁目、小山町の一部
	2 小山	3 小山	小山町の一部
		4 小山中央	小山ヶ丘1～3丁目、小山ヶ丘4～5丁目の一部、小山町の一部
忠生地区	3 忠生 小山田	5 忠生 図師	図師町、忠生2～3丁目の一部、忠生4丁目、根岸1～2丁目、根岸町、矢部町、下小山田町の一部
		6 小山田 小山田南	小山田桜台1～2丁目、上小山田町、下小山田町の一部、常盤町
	4 木曽	7 忠生第三 木曽境川	木曽西1～5丁目、木曽東1～4丁目、木曽町
鶴川地区	5 鶴川	8 鶴川第一 大蔵	大蔵町、小野路町、野津田町の一部
	6 鶴川第二 真光寺	9 鶴川第二 鶴川第三※1	鶴川1丁目、能ヶ谷1～2丁目、能ヶ谷3丁目の一部、能ヶ谷4～7丁目、広袴町
		10 鶴川第三※1 鶴川第四	真光寺1～3丁目、真光寺町、鶴川2～6丁目、広袴1～4丁目
		11 三輪	三輪町、三輪緑山1～4丁目、能ヶ谷3丁目の一部
	7 薬師 金井	12 藤の台 金井	金井1～8丁目、金井町、金井ヶ丘1～5丁目、野津田町の一部、薬師台1～3丁目、玉川学園4～5丁目の一部
町田地区	8 町田第一	13 町田第一	原町田5～6丁目、中町1～4丁目、本町田の一部
		14 町田第四	旭町1～3丁目、森野1～6丁目
	9 町田第二	15 町田第二	原町田1～4丁目
		16 町田第六 高ヶ坂	高ヶ坂1～3丁目、高ヶ坂5～7丁目、南大谷1番地、南大谷1～3丁目、南大谷7丁目、本町田の一部
	10 南大谷	南大谷	高ヶ坂4丁目、東玉川学園3～4丁目、南大谷4～6丁目
		17 町田第五	玉川学園1～3丁目、玉川学園4～5丁目の一部、玉川学園6～8丁目
	11 町田第三 山崎	18 町田第三 本町田ひなた	藤の台1～3丁目、本町田の一部
19 山崎 七国山		山崎1丁目、山崎町、忠生1丁目、忠生2～3丁目の一部	
南地区	12 南	20 南第一	金森4～6丁目、南町田1～4丁目
		21 南第三 南第四	金森1～3丁目、金森7丁目、金森東1～3丁目、金森東4丁目の一部、小川2丁目の一部、成瀬が丘2～3丁目
	13 つくし野	22 つくし野 南つくし野	小川6～7丁目、つくし野1～4丁目 南つくし野1～4丁目、南町田5丁目
		23 鶴間	鶴間1～8丁目
	14 成瀬台	24 成瀬台 成瀬中央	成瀬台1～4丁目、成瀬1～4丁目 西成瀬1～3丁目、東玉川学園1～2丁目
	15 南成瀬	25 成瀬	成瀬5～8丁目、南成瀬1～8丁目
		26 小川	小川1丁目、小川2丁目の一部、小川3～5丁目、成瀬が丘1丁目、金森東4丁目の一部

※1 鶴川第三小学校区の学区の一部は鶴川第二小学校区と鶴川第四小学校区に分割統合

② 新校舎使用開始目標年度

小学校

期	項番	学校名 (候補地名)	学校 候補地※1	基本計画検討着手 目標年度※2	新校舎使用開始 目標年度※3	(参考) 想定統合年度※4
第1期	1	本町田東	○	2021	2028	2025
		本町田				2028
		町田第三				
	2	南第二	○	2021	2028	2025
		南成瀬				
第2期	3	鶴川第二	○	2021	2033	2029
		鶴川第三※5				
	4	鶴川第三※5		2021	2029	2026
		鶴川第四	○			
	5	南第一	-	2022	2030	-
	6	南第三		2026	2034	2034
		南第四	○			
	7	小山田		2026	2035	2035
		小山田南	○			
		町田第六	○			2031
	8	高ヶ坂		2027	2035	第3期に統合
		南大谷				
	9	町田第四	-	2028	2036	-
	10	山崎		2030	2035 ※6	2035
		七国山				
		山崎中学校用地	○			
	11	成瀬台	○※7	2031	2039	2035
		成瀬中央				
	12	相原	○	2032	2041	2037
		小中一貫ゆくのき学園(大戸)				
第3期	13	藤の台		2033年度以降に 検討着手		
		金井				
		金井スポーツ広場	○			
	14	町田第五	-			
	15	忠生第三	○			
		木曽境川				
	16	つくし野	○			
		南つくし野				
	17	忠生				
		図師	○			
	18	鶴川第一	○			
		大蔵				

※1 学校を建設する候補地に「○」を記載。通学区域統合をしない学校の場合は「-」と記載

※2 統合新設校 基本計画検討会で基本計画の検討に着手する目標年度を記載

※3 建替えした学校で授業を開始する目標年度を記載

※4 通学区域が統合となる想定年度を記載。通学区域の統合を段階的に行う可能性がある通学区域は、2 書きで表記

※5 鶴川第三小学校区の学区の一部は鶴川第二小学校区と鶴川第四小学校区に分割統合

※6 改築はせず、リニューアル工事で対応することを予定

※7 成瀬台小学校と成瀬台中学校の用地で一体的な整備を検討

中学校

期	項番	学校名 (候補地名)	学校 候補地※1	基本計画検討着手 目標年度※2	新校舎使用開始 目標年度※3	(参考) 想定統合年度※4
第2期	1	薬師 金井	○	2025	2031 ※5	2028
	2	町田第三 山崎 旧 本町田小学校用地	○	2026	2033	2033
	3	鶴川第二 真光寺	○※6	2030	2038	2034
	4	成瀬台	- ※7	2031	2039	-
	5	堺 小中一貫ゆくのき学園(武蔵岡)	○	2032	2040	2037
第3期	6	町田第二	-	2033年度以降に 検討着手		
	7	忠生 小山田	○			

※1 学校を建設する候補地に「○」を記載。通学区域統合をしない学校の場合は「-」と記載

※2 統合新設校 基本計画検討会で基本計画の検討に着手する目標年度を記載

※3 建替えた学校で授業を開始する目標年度を記載

※4 通学区域が統合となる想定年度を記載

※5 改築はせず、リニューアル工事に対応することを予定

※6 鶴川第三小学校と鶴川第二中学校の用地で一体的な整備を検討

※7 成瀬台小学校と成瀬台中学校の用地で一体的な整備を検討

(3) 新たな学校の運用体制

学校を地域の活動拠点にするとともに、教員が教育活動に専念できる環境にするため、民間活力を導入する取り組みを進めています。学校施設の維持管理や子どもが使わない時間の特別教室等の活用、教育活動の支援に民間のノウハウを活用します。

